Leading Forum 2015 Leading Forum: 2015 Leading 10 Forum 2015 Leading Forum 2015 Le Forum 2015 Leading Forum 2015 Leading Foru Forum 2015 Leading Forum 2015 2015 Leading Forum 2015 Leading Foru Forum 2015 Leading F Leading Forum 2015 Leading Forus

ting Forum 2015 Leading Forum

Forum 2015 Leading Forum

orum 2015 Leading Forum

um 2015 Leading Forur

n 2015 Leading Forur

2015 Leading Forur

:015 Leading Forum

:015 Leading Forur

015 Leading Forur

:015 Leading Forur

:015 Leading Forum

2015 Leading Forur

2015 Leading Forum

an 2015 Leading Forum rum 2015 Leading Forum

min 2015 Leading Forur 2015 Leacing Forum

2015 Leading Fond

Forum 2015 8 Forum 2015 Leading Forum rg Forum 201 8 Forum 2015 Leading For 18 Forum 2015 Leading F g Forum 2015 Leading 18 Forum 2015 Leadin ig Forum 2015 Lead 18 Forum 2015 Lear ig Forum 2015 Lea ig Forum 2015 Lea: ig Forum 2015 Lear ig Forum 2015 Lear ig Forum 2015 Lear ig Forum 2015 Leada g Forum 2015 Leading ig Forum 2015 Leading ig Forum 2015 Leading Fo 12 Fortum 2015 Leading For 12 Forum 2015 Leading For 10 Forum 2015 Laadime Fran

g Fon

8 Fon

8 Fon

Leading

Forum

2015

博士課程教育リーディングプログラム フォーラム2015

Program for Leading Graduate Schools Forum 2015

開催日:2015年10月24日(土)・25日(日) 会場:ベルサール新宿グランド1階イベントホール・5階コンファレンスセンター 主催:東京大学 後援:日本経済団体連合会 経済同友会 産業競争力懇談会(COCN) 企画・運営:東京大学リーディングフォーラム2015 組織委員会

Dates: Saturday, October 24 and Sunday, October 25, 2015 Venue: Bellesalle Shinjuku Grand 1F Event Hall, 5F Conference Center Organized by: The University of Tokyo Supported by: Keidanren(Japan Business Federation), Japan Association of Corporate Executives, Council on Competitiveness-Nippon(COCN) Steering by: Leading Forum 2015 Organizing Committee, The University of Tokyo

http://forum2015.lgs.u-tokyo.ac.jp

当該 PDF データは圧縮版ため、 一部画像が荒れて見える場合がございます。



Program for Leading Graduate Schools Forum 2015



開催大学挨拶5組織委員会委員長挨拶6日本学術振興会理事長挨拶7基調講演6プログラムワークショップ9-45学生フォーラム50-53スタッフセミナー54-57パネルディスカッション58-60ポスターセッション61-62参加プログラム一覧63-64会場案内図65-66交通アクセス67路線図68組織委員会65実行委員会70付 録71	目次	1-2
組織委員会委員長挨拶 6 日本学術振興会理事長挨拶 7 基調講演 8 プログラムワークショップ 9-48 学生フォーラム 50-53 スタッフセミナー 54-57 パネルディスカッション 58-60 ポスターセッション 61-62 参加プログラム一覧 63-64 会場案内図 65-66 交通アクセス 67 路線図 68 組織委員会 69 実行委員会 70 付録 71	プログラム	3-4
日本学術振興会理事長挨拶 7 基調講演 8 プログラムワークショップ 9-45 学生フォーラム 50-53 スタッフセミナー 54-57 パネルディスカッション 58-60 ポスターセッション 61-62 参加プログラム一覧 63-64 会場案内図 65-66 交通アクセス 67 路線図 68 組織委員会 65 実行委員会 70 付録 71	開催大学挨拶	5
基調講演 8 プログラムワークショップ 9-48 学生フォーラム 50-53 スタッフセミナー 54-57 パネルディスカッション 58-60 ポスターセッション 61-62 参加プログラム一覧 63-64 会場案内図 65-66 交通アクセス 67 路線図 68 組織委員会 65 実行委員会 70 付録 71	組織委員会委員長挨拶	6
プログラムワークショップ 9-45 学生フォーラム 50-53 スタッフセミナー 54-57 パネルディスカッション 58-60 ポスターセッション 61-62 参加プログラム一覧 63-64 会場案内図 65-66 交通アクセス 67 路線図 65 組織委員会 65 実行委員会 70 付録 71	日本学術振興会理事長挨拶	7
学生フォーラム 50-53 スタッフセミナー 54-57 パネルディスカッション 58-60 ポスターセッション 61-62 参加プログラム一覧 63-64 会場案内図 65-66 交通アクセス 67 路線図 68 組織委員会 65 実行委員会 70 付録 71	基調講演	8
スタッフセミナー 54-57 パネルディスカッション 58-60 ポスターセッション 61-62 参加プログラム一覧 63-64 会場案内図 65-66 交通アクセス 67 路線図 68 組織委員会 68 実行委員会 70 付録 71	プログラムワークショップ	9-49
パネルディスカッション 58-60 ポスターセッション 61-62 参加プログラム一覧 63-64 会場案内図 65-66 交通アクセス 67 路線図 68 組織委員会 68 実行委員会 70 付録 71	学生フォーラム	50-53
ポスターセッション61-62参加プログラム一覧63-64会場案内図65-66交通アクセス67路線図68組織委員会68実行委員会70付録71	スタッフセミナー	54-57
参加プログラム一覧 63-64 会場案内図 65-66 交通アクセス 65 路線図 68 組織委員会 69 実行委員会 70 付録 71	パネルディスカッション	58-60
会場案内図 65-66 交通アクセス 67 路線図 68 組織委員会 69 実行委員会 70 付録 71	ポスターセッション	61-62
交通アクセス 67 路線図 68 組織委員会 68 実行委員会 70 付録 71	参加プログラム一覧	63-64
路線図 68 組織委員会 69 実行委員会 70 付録 71	会場案内図	65-66
組織委員会 69 実行委員会 70 付録 71	交通アクセス	67
実行委員会 70 付録 71	路線図	68
 付録7	組織委員会	69
	実行委員会	70
お問い合わせ 72	付録	71
	お問い合わせ	72

Contents	1-2
Program	3-4
Message from The University of Tokyo	5
Message from the Organizing Committee Chairman	6
Message from the JSPS President	7
Keynote Lecture	8
Program Workshop	9-49
Student Forum	50-53
Staff Seminar	54-57
Panel Discussion	58-60
Poster Session	61-62
List of Participating Programs	63-64
Floor Map	65-66
Access	67
Route map	68
Organizing Committee	69
Executive Committee	70
Appendix	71
Contact us	72

Program

プログラム

	年10月24日(土)													
n+ ee	ホール	ロビー	会議室A	会議室B	会議室C	会議室D	会議室E	会議室F	会議室G	会議室H	会議室।	会議室K	会議室M	会議室L
時間	1階 ホールA ホールB	1階						5 階						
9:30														
10:00	10:30													
	10:30 ~ 12:00													
11:00	オープニングセッション													
	開催大学挨拶:五神真													
	(東京大学総長)													
	文部科学省挨拶													
	日本学術振興会講演:安西祐一郎 (日本学術振興会理事長)													
	基調講演:川村隆													
	(株式会社日立製作所相談役)													
12:00	12:00	ポスター												
		セッション												
13:00	13:15		13:00				13.00~	16:45 学生	フォーラル					
	13:15 ~ 15:30						10.00	10.40 +1	// //					休憩
14.00	プログラムワークショップ オール ラウンド 型													スペース
14:00	複 合 領 域(環境)型 複合領域(生命健康)型													
	複 合 領 域(物質)型 複 合 領 域(情報)型												13:00	
	14:20~14:35 休憩 複合領域(多文化共生社会)型		リーダー	シップ教育		野横断 や	グローバル化 や	産業界 や		題に基づく			15:00	
	複合領域(安全安心)型					(英語)	国際化	公的機関など	プロジェク	トリーク				
15:00	複合領域(横断的テーマ)型 オンリーワン型						(英語)	との連携						
	15:30	15:30												
16:00	-	17:00												
		ポスター 発 表												
17:00			16:45										15;00	
	17:30												19 [:] 00 会議	
18:00		ポスター											ム 诫	
18.00	17:30~19:30	セッション												
	レセプション												1	
19:00														
	年10月25日(日)													
2015:	年10月25日(日) ホール	<u>0</u> Ľ–	会議室A	会議室B	会議室C	会議室D	会議室E	会議室F	会議室G	会議室日	会議室।	会議室K	会議室M	会議室L
	年10月25日(日)	ロビー 1階	会議室A	会議室B	会議室C	会議室D	会議室E	会議室F 5階	会議室G	会議室H	会議室।	会議室K	会議室M	会議室L
2015:	年10月25日(日) ホール 1階		会議室A 10:00	会議室B				5 階	会議室G	会議室日	会議室	会議室K	会議室M	会議室L
2015: 時間	年10月25日(日) ホール 1階 ホールA ホールB			会議室B		会議室D 		5 階	会議室G	会議室H	10:00	会議室K 12:00 スタ:		会議室L
2015 時間 9:15	年10月25日(日) ホール 1階 ホールA ホールB 10:00			会議室B				5 階	会議室G	会議室日	10:00			会議室し
2015: 時間 9:15 10:00	年10月25日(日) ホール 1階 ホールA ホールB 10:00 10:00~12:00	1 階 ポスター	10:00	社会連携	10:00~ 教育	~12:00 ブi 教育	コグラムワー 教育	5 階 クショップ 教 育	社会連携	教育	10:00 10:00~ ⁻ プロジェクト	12:00 スタ: 政策		会議室し
2015 時間 9:15	年10月25日(日) ホール 1階 ホールA ホールB 10:00	1 階	10:00		10:00 -	~12:00 ブ	コグラムワー	5 階 クショップ			10:00 10:00 ~ ⁻	12:00 スタ: 政策	ッフセミナー	会議室L
2015: 時間 9:15 10:00 11:00	年10月25日(日) ホール 1階 ホールA ホールB 10:00 10:00~12:00 学生フォーラム	1 階 ポスター	10:00 社会連携 1-1	社会連携	10:00~ 教育	~12:00 ブi 教育	コグラムワー 教育	5 階 クショップ 教 育	社会連携	教育	10:00 10:00~ ブロジェクト マネジメント	12:00 スタ: 政策	ッフセミナー	会議室L
2015: 時間 9:15 10:00 11:00	年10月25日(日) ホール 1階 ホールA ホールB 10:00 10:00~12:00 学生フォーラム	1 階 ポスター	10:00	社会連携	10:00~ 教育	~12:00 ブi 教育	コグラムワー 教育	5 階 クショップ 教 育	社会連携	教育	10:00 10:00~ ⁻ プロジェクト	12:00 スタ: 政策	ッフセミナー	会議室L
2015: 時間 9:15 10:00 11:00 12:00 13:00	年10月25日(日) ホール 1階 ホールA ホールB 10:00 10:00~12:00 学生フォーラム	1 階 ポスター	10:00 社会連携 1-1	社会連携	10:00~ 教育	~12:00 ブi 教育	コグラムワー 教育	5 階 クショップ 教 育	社会連携	教育	10:00 10:00~ ブロジェクト マネジメント	12:00 スタ: 政策	ッフセミナー	会講室L
2015: 時間 9:15 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00	年10月25日(日) ホール 1階 ホールA ホールB 10:00 10:00~12:00 学生フォーラム 12:00 13:15~15:30	1 階 ポスター セッション	10:00 社会連携 1-1	社会連携	10:00~ 教育	~12:00 ブi 教育	コグラムワー 教育	5 階 クショップ 教 育	社会連携	教育	10:00 10:00~ ブロジェクト マネジメント	12:00 スタ: 政策	ッフセミナー	会講室L
2015: 時間 9:15 10:00 11:00 12:00 13:00	年10月25日(日) ホール 1階 ホールA ホールB 10:00 10:00~12:00 学生フォーラム	1 階 ポスター	10:00 社会連携 1-1	社会連携	10:00~ 教育	~12:00 ブi 教育	コグラムワー 教育	5 階 クショップ 教 育	社会連携	教育	10:00 10:00~ ブロジェクト マネジメント	12:00 スタ: 政策	ッフセミナー	会講室L
2015: 時間 9:15 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00	年10月25日(日) ホール 1階 ホールA ホールB 10:00 10:00~12:00 学生フォーラム 12:00 13:15~15:30 学生フォーラム発表 15:30~17:00	1 階 ポスター セッション	10:00 社会連携 1-1	社会連携	10:00~ 教育	~12:00 ブi 教育	コグラムワー 教育	5 階 クショップ 教 育	社会連携	教育	10:00 10:00~ ブロジェクト マネジメント	12:00 スタ: 政策	ッフセミナー	
2015: 時間 9:15 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00	年10月25日(日) ホール 1階 ホールA ホールB 10:00 10:00~12:00 学生フォーラム 12:00 13:15~15:30 学生フォーラム発表 15:30~17:00 パネルディスカッション	1 階 ポスター セッション	10:00 社会連携 1-1	社会連携	10:00~ 教育	~12:00 ブi 教育	コグラムワー 教育	5 階 クショップ 教 育	社会連携	教育	10:00 10:00~ ブロジェクト マネジメント	12:00 スタ: 政策	ッフセミナー	休憩
2015: 時間 9:15 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00	年10月25日(日) ホール 1階 ホールA ホールB 10:00 10:00 ~ 12:00 学生フォーラム 12:00 13:15 ~ 15:30 学生フォーラム発表 15:30 ~ 17:00 パネルディスカッション パネリスト: 有信酸弘	1 階 ポスター セッション	10:00 社会連携 1-1	社会連携	10:00~ 教育	~12:00 ブi 教育	コグラムワー 教育	5 階 クショップ 教 育	社会連携	教育	10:00 10:00~ ブロジェクト マネジメント	12:00 スタ: 政策	ッフセミナー	
2015: 時間 9:15 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00	年10月25日(日) ホール 1階 ホールA ホールB 10:00 10:00~12:00 学生フォーラム 13:15~15:30 学生フォーラム発表 15:30~17:00 パネルディスカッション パネルティスカッション パネリスト:	1 階 ポスター セッション	10:00 社会連携 1-1	社会連携	10:00~ 教育	~12:00 ブi 教育	コグラムワー 教育	5 階 クショップ 教 育	社会連携	教育	10:00 10:00~ ブロジェクト マネジメント	12:00 スタ: 政策	ッフセミナー	休憩
2015: 時間 9:15 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00	年10月25日(日) ホール 1階 ホールA ホールB 10:00 10:00 ~ 12:00 学生フォーラム 12:00 13:15 ~ 15:30 学生フォーラム発表 15:30 ~ 17:00 パネルディスカッション パネルディスカッション パネルディスカッション パネリスト: 有信聴弘 (国立研究開発法、理化学研究所理事) 五神頁(東京大学総長) 富塚誠義	1 階 ポスター セッション 15:00	10:00 社会連携 1-1	社会連携	10:00~ 教育	~12:00 ブi 教育	コグラムワー 教育	5 階 クショップ 教 育	社会連携	教育	10:00 10:00~ ブロジェクト マネジメント	12:00 スタ: 政策	ッフセミナー	休憩
2015: 時間 9:15 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00	年10月25日(日) ホール 1階 ホールA ホールB 10:00 10:00~12:00 学生フォーラム 12:00 13:15~15:30 学生フォーラム発表 15:30~17:00 パネルティスカッション	1 階 ポスター セッション	10:00 社会連携 1-1	社会連携	10:00~ 教育	~12:00 ブi 教育	コグラムワー 教育	5 階 クショップ 教 育	社会連携	教育	10:00 10:00~ ブロジェクト マネジメント	12:00 スタ: 政策	ッフセミナー	休憩
2015: 時間 9:15 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00	年10月25日(日) ホール 1階 ホールA ホールB 10:00 10:00 ~ 12:00 学生フォーラム 12:00 13:15 ~ 15:30 学生フォーラム発表 15:30 ~ 17:00 パネルディスカッション パネルティスカッション パネルティスカッション パネルティスカッション パネルティスカッション パネルティスカッション パネリスト: 有信陸弘 (国立研究開発法人智化学研究所理事) 五神真(東京大学 彩長) 富塚誠義 (カリフォルニア大学パークレー 教授) 永里善喜 株式会社旭リサーチセンター常任顧問)	1 階 ポスター セッション	10:00 社会連携 1-1	社会連携	10:00~ 教育	~12:00 ブi 教育	コグラムワー 教育	5 階 クショップ 教 育	社会連携	教育	10:00 10:00~ ブロジェクト マネジメント	12:00 スタ: 政策	ッフセミナー	休憩
2015: 時間 9:15 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00	年10月25日(日) ホール 1階 ホールA ホールB 10:00 10:00~12:00 学生フォーラム 12:00 13:15 13:15~15:30 学生フォーラム発表 15:30~17:00 パネルディスカッション パネルスト: 有信腔弘 (国立研究開発法人理化学研究所理事) 五神真(東京大学 総長) 宮塚誠義 (カリフォルニア大学パークレー 教授) 永里書彦 (林式会社旭リサーチセンター 常任顧問) 原山優子 (内関所総合科学技術・	1 階 ポスター セッション	10:00 社会連携 1-1	社会連携	10:00~ 教育	~12:00 ブi 教育	コグラムワー 教育	5 階 クショップ 教 育	社会連携	教育	10:00 10:00~ ブロジェクト マネジメント	12:00 スタ: 政策	ッフセミナー	休憩
2015: 時間 9:15 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00	年10月25日(日) ホール 1 開 ホールA ホールB 10:00 10:00 ~ 12:00 学生フォーラム 12:00 13:15 ~ 15:30 学生フォーラム発表 15:30 ~ 17:00 パネルディスカッション パネルティスカッション パネルティスカッション パネルティスカッション パネルティスカッション パネルティスカッション パネルティスカッション パネルティスカッション パネルティスカッション パネルティスカッション パネルティスカッション パネルティスカッション パネルティスカッション パネルティスカッション パネルティスカッション パネルティンクレー教授 泉 東山優子 (内閣府総合科学技術・ イノベーション会講 議員) モデレーター:	1 階 ポスター セッション	10:00 社会連携 1-1	社会連携	10:00~ 教育	~12:00 ブi 教育	コグラムワー 教育	5 階 クショップ 教 育	社会連携	教育	10:00 10:00~ ブロジェクト マネジメント	12:00 スタ: 政策	ッフセミナー	休憩
2015: 時間 9:15 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00	年10月25日(日) ホール 1階 ホールA ホールB 10:00 10:00~12:00 学生フォーラム 12:00 13:15~15:30 学生フォーラム発表 15:30~17:00 パネルディスカッション パネリスト: 有信酸弘 (国立研究開発法人理化学研究所理事) 五神頁(東京大学 総長) 富塚誠義 (カリフォルニア大学バークレー教授) 永里書彦 (株式会社旭リサーチセンター常任顧問) 原山優子 (内閣所総合科学技術・ イノベーション会講 議員) モデレーター: 諸大寛 (東京大学 教授 / 慶屈義塾大学 教授	1 階 ポスター セッション	10:00 社会連携 1-1	社会連携	10:00~ 教育	~12:00 ブi 教育	コグラムワー 教育	5 階 クショップ 教 育	社会連携	教育	10:00 10:00~ ブロジェクト マネジメント	12:00 スタ: 政策	ッフセミナー	休憩
2015: 時間 9:15 10:00 11:00 12:00 14:00 15:00	年10月25日(日) ホール 1階 ホールA ホールB 10:00 10:00 ~ 12:00 学生フォーラム 12:00 13:15 13:15 ~ 15:30 学生フォーラム発表 15:30 ~ 17:00 パネルディスカッション パネリスト: 有信礎弘 (国立研究開発法人習化学研究所理事) 五神真(東京大学 総長) 富塚誠義 (カリフォルニア大学パークレー 教授) 永里書章 (株式会社旭リサーチセンター 常任顧問) 原山優子 (内閣所総合科学技術・ イノペーション会議 議員) モデレーター: 音力・	1 階 ポスター セッション	10:00 社会連携 1-1	社会連携	10:00~ 教育	~12:00 ブi 教育	コグラムワー 教育	5 階 クショップ 教 育	社会連携	教育	10:00 10:00~ ブロジェクト マネジメント	12:00 スタ: 政策	ッフセミナー	休憩
2015: 時間 9:15 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00	年10月25日(日) ホール 1階 ホールA ホールB 10:00 10:00~12:00 学生フォーラム 12:00 13:15~15:30 学生フォーラム発表 15:30~17:00 パネルディスカッション パネリスト: 有信酸弘 (国立研究開発法人理化学研究所理事) 五神頁(東京大学 総長) 富塚誠義 (カリフォルニア大学バークレー教授) 永里書彦 (株式会社旭リサーチセンター常任顧問) 原山優子 (内閣所総合科学技術・ イノベーション会講 議員) モデレーター: 諸大寛 (東京大学 教授 / 慶屈義塾大学 教授	1 階 ポスター セッション	10:00 社会連携 1-1	社会連携	10:00~ 教育	~12:00 ブi 教育	コグラムワー 教育	5 階 クショップ 教 育	社会連携	教育	10:00 10:00~ ブロジェクト マネジメント	12:00 スタ: 政策	ッフセミナー	休憩

3 • Program •



-														
On Oc	tober 24, 2015 (Sat)		Conference	Conference Room B	Conference	Conference	Conference	Conference	Conference	Conference	Conference	Conference	Conference	Conference
Time	Hall 1F	Lobby 1F	Room A	Room B	Room C	Room D	RoomE	Room F	Room G	Room H	Room I	Room K	Room M	RoomL
9:30	Hall A hall B	15						55		1				
10:00														
	10:30 10:30 ~ 12:00													
11:00	Opening Session Opening Address :													
	Makoto Gonokami (President, The University of Tokyo)													
	Opening Address : Ministry of Education, Culture,													
	Sports, Science and Technology(MEXT)													
	JSPS's President Lecture : Yuichiro Anzai													
	(President, JSPS) Keynote Lecture :													
	Takashi Kawamura (Chairman Emeritus, Hitachi, Ltd.)													
12:00	12:00	Poster Session												
		00001011	13:00											
13:00	13:15 13:15 ~ 15:30						13:00~1	6:45 Stu	dent Forum					
	Program Workshop All-around category													
14:00	Composite category(Environment) Composite category													Lounge
	(Life science & health) Composite category (Materials) Composite category (Information)		1	ership ation	cipli	rdis- nary	Globali- zation	Partner- ship	addre	t works essing			13:00 15:00	
	14:20~14:35 Break				educ (in Er	ation Iglish)	/ inter- nationali-	with public	social p	problems			13.00	
15:00	Composite category (Pluralistic society) Composite category (Safety & security) Composite category (Cross-cutting themes)						zation (in English)	and private						
10.00	"Only-one" category							sectors						
16:00	10.00	15:30 17:00												
		Poster Preșen-												
17:00		tation	16:45										15:00	
	17:30												19:00 Meeting	
18:00		Poster											mooting	
	17:30 ~ 19:30 Reception	Session												
19:00														
On Oc	tober 25, 2015 (Sun)													
	Hall	Lobby	Conference Room A	Conference Room B	Conference Room C	Conference Room D	Conference Room E	Conference Room F	Conference Room G	Conference Room H	Conference Room I	Conference Room K	Conference Room M	Conference Room L
Time	1F Hall A hall B	١F					5F							
9:15	10:00		10:00								10:00			
10:00					10:00	~12:00 P	rogram Wo	rkshop			10:00~	12:00 Staf	f Seminar	
	10:00 ~ 12:00	Poster	Coope-	Coope-	Education	Education	Education	Education	Coope-	Education	Project	Govern-	Academic	
11:00	Student Forum	Session	ration	ration with	3-1	3-2	1-1	1-2	ration with	2	Manage- ment	Policy	Affairs	
			1	Society1-2					Society2		ment	rolicy		
12:00	12:00		12:00								12:00			
13:00	13:15													
14:00	13:15 ~ 15:30 Student Forum Dresentation	15.00												
15:00	Student Forum Presentation	15:00												
	15:30 ~ 17:00 Banal Discussion													10
16:00	Panel Discussion Panelists : Mutsuhiro Arinobu (Executive Director, RIKEN)													Lounge
	Makoto Gonokami													
	(President, The University of Tokyo) Masayoshi Tomizuka (Professor, University of California, Berkeley)													
	(Professor, University of California, Berkeley) Yoshihiko Nagasato (Standing Advisor,													
	Asahi Research Center Co., Ltd.)													
	Yuko Harayama (Executive Member, Council for Science,													
	Technology and Innovation, Cabinet Office, Japan) Moderator :													
	Hiroshi Kan Suzuki (Professor, The University of Tokyo; Professor, Keio University; MEXT Special Advisor)													
17:00	Closing													
	UIU3IIIg													

Message from The University of Tokyo 開催大学挨拶

東京大学 総長 五神 真 President, The University of Tokyo Makoto Gonokami

グローバル化が加速する中で、地球規模の課題に 対処するためには、多様な人々が知恵を出し合い、 それを活用し、連携協力して行動をおこすことが必 要です。それを主導できる、自ら考え、新しい知を 生み出し、人類社会のための知の活用を目指して行 動する意欲に満ち溢れた人材の育成が急務となっ ています。そのような「知のプロフェッショナル」 を育成するために、東京大学では、現在世界水準 の教育研究環境を有する修士・博士一貫の学位プロ グラム制大学院国際卓越大学院を開設することを 検討しています。本学で実施中の博士課程教育リー ディングプログラム事業9プログラムはこの「国際

In the midst of rapid globalization, we need to ensure that people from diverse backgrounds share and utilize their ideas. and work together to tackle global issues. Our most urgent task is to cultivate personnel capable of taking the lead in this process, able to think independently and to create new knowledge, and equipped with a boundless desire to use their knowledge to benefit humankind as a whole. To foster such knowledge professionals. the University of Tokyo is discussing the establishment of graduate schools where the master's and doctoral programs are integrated into one continuous program, which features an educational and research environment on par with the best in the world. The nine Programs for Leading Graduate Schools currently underway at the University of Tokyo will serve as the model for this Graduate School of



卓越大学院」のモデルとなるものです。

この度、この9プログラムが主体となり、リー ディングフォーラムを開催する運びとなりました。 今回が3回目となるリーディングフォーラムでは 全62博士課程教育リーディングプログラムを実 施中の大学に加え、ご関係の民間企業,研究開発法 人、独立行政法人や官庁などから幅広くご参加をい ただき、博士人材育成制度の進歩や発展をご議論い ただきたいと思います。活発な意見交換にぜひご協 力を賜りたくよろしくお願いいたします。皆様とお 会いできるのを楽しみにしております。

International Excellence.

These nine programs have come together to host the Leading Forum. which is being held this year for the third time. We are pleased to welcome a wide range of participants, including not only representatives of universities currently implementing a total of 62 Programs for Leading Graduate Schools, but also private sector companies, research and development corporations, incorporated administrative agencies, and government agencies. I hope that discussions will focus on the progress and development of graduate school systems to foster excellent PhDs. As such, I hope that you will contribute to ensuring that a lively exchange of views takes place. I look forward to meeting you all.

Message from the Organizing Committee Chairman 組織委員会委員長挨拶

東京大学リーディングフォーラム 2015 組織委員会 委員長 東京大学 理事・副学長 **保立 和夫**

Chair, Program for Leading Graduate Schools Forum 2015 Organizing Committee, The University of Tokyo (Executive Vice President, The University of Tokyo) Kazuo Hotate



「博士課程教育リーディングプログラム」は、優 秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわ たりグローバルに活躍するリーダーへと導くため、 国内外の第一級の教員・学生を結集し、産・学・官 の参画を得つつ、専門分野の枠を超えて博士課程前 期・後期一貫した世界に通用する質の保証された学 位プログラムを構築・展開する大学院教育の抜本的 改革を支援し、最高学府に相応しい大学院の形成を 推進する文部科学省の事業です。

『博士課程教育リーディングプログラム フォー ラム 2015』では、人類社会の持続的発展・成長 にリーダーシップを発揮する高度な人材を養成す

The Program for Leading Graduate Schools, includes 62 programs, at some 30 participating universities, with active collaboration between industry, academia and government. This is developing graduate students equipped with creativity and a holistic view across multiple disciplines. With the Program's continuous commitment through master's and doctoral courses, potential global leaders for the sustainable development and societal improvement are beginning to emerge.

This Forum disseminates the progress of this educational initiative and showcases

ることを目的とした全 62 のプログラム関係者が一 堂に会します。本フォーラムでは、博士課程教育の 抜本的な改革への取り組みにより、従来のものとど のように大きく変わったか、どのような学生が育ち つつあるかについて、社会の皆様にご理解いただく こと、およびプログラム関係者どうしが実施状況や 課題の情報交換を通じて互いに交流を深め、より質 の高いプログラムを実現していくことを目的とし ます。さらには社会の変化に応じた博士人材育成制 度の進歩や発展を議論します。

the diversity of understanding the students have been able to attain. We aim to further enhance the Program by sharing the implementation status and challenges of each program to a broader constituency. This reflects the Program's commitment to innovation in, and enrichment of, graduate education in Japan. Progress and development in Ph.D. education tailored to the anticipated changes in society will be also discussed.

Message from the JSPS President 日本学術振興会理事長挨拶

日本学術振興会 理事長 安西 祐一郎 JSPS President Yuichiro Anzai

本プログラムは、産学官にわたりグローバルに 活躍するリーダーを養成することを目的とした事 業です。具体的には、①国内外の企業・公的機関・ NPO等を中心として研究以外のフィールドでトッ プリーダーとして活躍できる人材、②高い国際性・ 学際性をベースとして、俯瞰的な視点から社会的課 題に挑戦し、解決に導ける人材、③確かな研究能力 をバックグラウンドに、イノベーションをけん引す るプロジェクトをマネージメントできる人材、④主 体的に目標を立て、国内外の多様なステークホル

The purpose of the Program for Leading Graduate Schools is to foster leaders who can play global roles across the spectrum of the industrial, academic and governmental sectors. It is specifically aimed at developing four kinds of talented people: (1) Those who will be leaders in fields other than research, including industry, public organizations and NPOs, both domestically and internationally: (2) those who, having extensive international and interdisciplinary perspectives, can from a wide overview take the lead in challenging and solving societal issues: (3) those who, having a solid background of proven research capability, can manage projects that drive innovation; and (4) those who can proactively set goals and



ダーを調整・統括して達成を図れる人材、の育成を 想定しております。

平成23年度に始まった本プログラムも5年目 を迎え、今後、各採択大学の厳しくも魅力溢れる プログラムで研鑽を積んだ修了生が実社会に飛び 立って参ります。各採択大学に改めて敬意を表する とともに、修了生の諸君には、各界における国際的 に活躍できるリーダーへの道を歩むことを大いに 期待しております。

achieve them by coordinating and uniting various stakeholders both domestically and internationally.

Launched in FY 2011, this project has entered its fifth year of operation. The selected universities have created superb educational programs under it. Students who have worked hard to complete these challenging graduate programs are now going out to take their places in the real world. Paying my deepest respect to the selected universities, I look forward with great anticipation to each of the graduates blazing their paves as global leaders in their chosen sectors of society.

Keynote Lecture ^{基調講演}

株式会社 日立製作所 相談役 川村 隆

Chairman Emeritus, Hitachi, Ltd. **Takashi Kawamura**



1962年東京大学工学部卒。同年日立製作所入社。電力発電部門のエンジニアとしてキャリアを積む。 2009年4月執行役会長兼執行役社長就任。 2014年6月から相談役。

He joined Hitachi in 1962 and began his professional career as an engineer for power generating systems. In 2009, he assumed the office of Chairman, President and CEO of Hitachi, Ltd., where he played the leading role in transforming Hitachi into a globally successful company through its Social Innovation Business. He retired as Chairman of Hitachi at the end of March 2014. Now he is continuing to serve Hitachi as a Chairman Emeritus. He graduated from the Faculty of Engineering of the University of Tokyo in 1962.

世界で戦える人財育成

これまでの経済・社会システムがさまざまなひず みを生み、格差や不平等、環境への高負荷などとい った社会課題を十分には解決出来ないでいる中、企 業には従前からの経済価値に加え、社会価値を重視 した経営がますます求められている。こうしたパラ ダイムシフトを迎え、今後わたしたちはどのように 幅広い教養や知見、そして専門性を備えながら世界 で戦い、勝てる人材を育成していくべきなのか。 本講演では、これまで私自身が経験してきたこと を踏まえ、日立製作所におけるリーダー育成の取り 組み事例や、グローバルなビジネス環境において必 要な考え方等についてお伝えしたい。また、博士課 程教育リーディングプログラムへの期待と、こうし た人材輩出を通じて我が国においてどのようにオ ープンイノベーションを促進していくべきなのか について論じたい。

Developing World-Class Talent for Tomorrow

The present economic and social system has caused various strains in society, and while social issues such as disparity, inequality and heavy burdens on the environment have not been sufficiently solved, businesses are expected to operate with emphasis on social values, in addition to conventional economic values. With that paradigm shift, how do we continue to train personnel, equipped with a broad range of education, knowledge and expertise, who can compete successfully on the global

stage?

In this lecture, I would like to share some case studies of leadership development activities by Hitachi, Ltd. and to talk about the attitude necessary in a global business environment based on my personal experiences. Additionally, I would also like to discuss my expectations for the Program for Leading Graduate Schools and how we could promote open innovation in our country by producing such talented personnel.

8

Keynote Lecture

24 Sat

25

10:30

12:00

プログラムワークショップ

日時:2015年10月24日(土) 時間:13:15-15:30 会場:ベルサール新宿グランド1階イベントホール

日時:2015年10月25日(日) 時間:10:00-12:00 会場:ベルサール新宿グランド5階コンファレンスセンター 会議室 A~H

テーマ:教育におけるベスト・プラクティス

各リーディングプログラムで実施されている成功事例を共有しつつ、共通の課題を明ら かにすることで、より質の高いプログラムを推進すること、また、学内外への展開を図り、 日本全体における大学院教育改革を一層進展させることを目的とします。このワークショッ プでは、プログラムの類型毎の取組の紹介から、養成すべき人材像や解決すべき課題に応じ た教育のあり方を考えます。さらに、教育や社会連携に関するテーマ毎の取組紹介を通じて、 大学院教育の改革や展望について議論します。

Dates : Saturday, October 24, 2015 Time : 13 : 15 - 15 : 30 Meeting Place : Bellesalle Shinjuku Grand 1F Event Hall

Dates : Sunday, October 25, 2015 Time : 10 : 00 - 12 : 00 Meeting Place : Bellesalle Shinjuku Grand 5F Conference Center Room A ~ H

Theme : Best Practices in Education

The purpose of the workshop is to improve the quality of the program by sharing best practices and discussing the challenges faced by individual programs. We expect that the deliberations in this session that will involve sharing with other departments and Universities will serve to promote and accelerate the reform of graduate-level education. In this workshop, the representatives of each program type first present an overview of their activities, which is followed by the discussion of the nature of education required to develop student talents. Next, program activities associated with a variety of topics concerning education and cooperation with society are presented. The workshop will also feature the discussion of the broader implications of these issues for graduate school reform.

24

Leading Forum 2015

1F
イベントホール Event Hall
13;15
15:30

プログラム名 Program Title 機関名 Institution	所属・職位 Affiliation/Position 登壇者名 Presenter	タイトル Title	ページ Page
超域イノベーション博士課程ブログラム Cross-Boundary Innovation Program 大阪大学 Osaka University	大阪大学大学院工学研究科 教授・プログラムコーディネーター Professor, Graduate School of Engineering; Program Coordinator 藤田 喜久雄 Kikuo Fujita	オールラウンド型7大学の文理統合型学位プログラムへのチャレンジ Challenges Facing the New Transdisciplinary PhD Programs of the Seven All-Round-Type Universities	P11
環境エネルギー協創教育院 Academy for Co-creative Education of Environment and Energy Science 東京工業大学 Tokyo Institute of Technology	東京工業大学大学院理工学研究科 教授・プログラムコーディネーター Professor, Department of Physical Electronics, Graduate School of Science and Engineering; Program Coordinator 波多野 睦子 Mutsuko Hatano	環境分野のグローバルリーダーに求められる能力の涵養 Fostering the ability as a global leader in the environmental field	PII
ヒューマンバイオロジー学位ブログラム Ph.D.Program in Human Biology 筑波大学 University of Tsukuba	筑波大学医学医療系教授・ブログラムコーディネーター Professor, Faculty of Medicine; Program Coordinator 渋谷 彰 Akira Shibuya	複合領域型(生命健康)博士課程リーディング大学院 The PhD program for multidisciplinary field (life and health science) in the Leading Graduate Schools	P12
統合物質科学リーダー養成プログラム Materials Education Program for the Future Leaders in Research, Industry, and Technology (MERIT) 東京大学 The University of Tokyo	東京大学工学系研究科教授・プログラムコーディネーター Professor, Quantum-Phase Electronics Center, Graduate School of Engineering 川崎 雅司 Masashi Kawasaki	統合物質科学リーダー養成プログラムの狙いと実績 Aim and achievement of MERIT program	P12
ソーシャルICT グローバル・ クリエイティブリーダー育成ブログラム Graduate Program for Social ICT Global Creative Leaders (GCL) 東京大学 The University of Tokyo	東京大学大学院情報理工学系研究科教授・ ブログラムコーディネーター Professor, Graduate School of Information Science and Technology; Program Coordinator 國吉 康夫 Yasuo Kuniyoshi	情報系複合領域ブログラム群の展開状況とベストブラクティス Progress and Best Practice of the Programs in Composite Category (Information)	P13
未来共生イノベーター博士課程ブログラム Doctoral Program for Multicultural Innovation 大阪大学 Osaka University	大阪大学未来共生イノベーター博士課程プログラム RESPECTプログラム 特任教授 Specially appointed Professor, Doctoral Program for Multicultural Innovation(RESPECT) 脇阪 紀行 Noriyuki Wakisaka	多文化共生社会 Multicultural Kyosei Society	P13
グローバル生存学大学院連携プログラム Inter-Graduate School Program for Sustainable Development and Survivable Societies 京都大学 Kyoto University	京都大学防災研究所教授・プログラムコーディネーター Professor, Disaster Prevention Research Institute; Program Coordinator 寶 馨 Kaoru Takara	複合領域型(安全安心) Composite category (Safety & Security)	P14
フォトンサイエンス・リーディング大学院 Advanced Leading Graduate Course for Photon Science (ALPS) 東京大学 The University of Tokyo	東京大学大学院理学系研究科教授・ブログラムコーディネーター Professor, Graduate School of Science; Program Coordinator 相原 博昭 Hiroaki Aihara	複合領域型(横断的テーマ)各ブログラムの取組みと課題 Approaches and Issues for Each Composite Category (Cross-Cutting Themes) Program	P14
数物フロンティア・リーディング大学院 Leading Graduate Course for Frontiers of Mathematical Sciences and Physics (FMSP) 東京大学 The University of Tokyo	東京大学大学院数理科学研究科教授・ブログラムコーディネーター Professor, Graduate School of Mathematical Sciences; Program Coordinator 河野 俊丈 Toshitake Kohno	数学を軸とする諸科学の横断的研究と 社会から提起される問題への貢献 Interdisciplinary study of various sciences based on mathematics and contributions to problems in society	P15

プログラムワークショップ

オールラウンド型

All-around category

Sun

24

Sat

1F ベントホール Event Hall 13:15 15:30

超域イノベーション博士課程プログラム 大阪大学

大学院工学研究科教授・プログラムコーディネーター藤田 喜久雄

オールラウンド型7大学の文理統合型学位プログラムへのチャレンジ

大学の叡智を結集した文理統合型学位プログラムの構築が要請されているオールラウンド型では、京都大学、大阪大学、慶応 義塾大学、東京工業大学、名古屋大学、東京大学、九州大学の7大学が採択されている。各大学は、グローバル社会を牽引する トップリーダーの要件を独自に描き出し、それぞれ、その要件に向けた特徴的な文理統合型教育の構築に取り組んでいる。

Cross-Boundary Innovation Program Osaka University Professor, Graduate School of Engineering; Program Coordinator Kikuo Fujita

Challenges Facing the New Transdisciplinary PhD Programs of the Seven All-Round-Type Universities

Seven Universities — Kyoto University, Osaka University, Keio University, Tokyo Institute of Technology, Nagoya University, Tokyo University and Kyushu University — have been selected to establish Leading Graduate Schools with all-round-type programs. An all-round-type program is designed to develop a new form of transdisciplinary graduate education that integrates the humanities and sciences by concentrating diverse resources from throughout the university. Each university has independently defined the requisites and is developing its own characteristic transdisciplinary PhD program to meet those requisites and educate PhD holders who will pursue careers as top leaders and contributors to our global society.



環境エネルギー協創教育院 東京工業大学 大学院理工学研究科教授・プログラムコーディネーター 波多野 睦子

環境分野のグローバルリーダーに求められる能力の涵養

6 プログラムは「社会科学・環境学」、「工学・理学」、「農学・医学」の中から2~3の学問領域を複合化し推進する。グロ ーバルリーダーに必要な能力として、研究力、俯瞰力、提案・企画・実践力、国際展開力、社会実現力、コミュニケーション力、 リーダーシップ力を掲げ、独自の涵養システムに取り組む。今後の学内外へのさらなる展開には、プログラム間の一層の連携が 課題である。

Academy for Co-creative Education of Environment and Energy Science Tokyo Institute of Technology

Professor, Department of Physical Electronics, Graduate School of Science and Engineering; Program Coordinator Mutsuko Hatano

Fostering the ability as a global leader in the environmental field

Six programs in the composite category (environment) are operated by integrating at least two academic disciplines including 'social science and environmental science', 'engineering and science' and 'agricultural science and medical science'. The programs commonly advocate the abilities necessary to be a global leader in the environmental field: 'research capability in the field of specialty', 'multifaceted viewpoints', 'proposal, planning and practice', 'international deployment', 'social realization', 'communication skill' and 'leadership'. These programs introduce their original curriculum to foster these capabilities. For further development of these programs toward inside and outside of the university, it is desired to pursue cooperation among the programs.

複合領域型 (生命健康) Composite category (Life science & health)

ヒューマンバイオロジー学位プログラム 筑波大学 医学医療系 教授・プログラムコーディネーター 渋谷 彭

複合領域型(生命健康)博士課程リーディング大学院

複合領域型(生命健康)博士課程リーディング大学院は、筑波大、東京大、東工大、阪大、京大、熊本大の6大学が開設、推進している。 育成する人材像は、生命科学と医科学を中心に、情報科学、工学あるいは人文社会学などを含めた複合領域型の高度の専門力を身につけ、人類社会が直面する課題の解決に向けて、産学官のプロジェクトを統括し、イノベーションを牽引する グローバルリーダーである。

Ph.D.Program in Human Biology University of Tsukuba Professor, Faculty of Medicine; Program Coordinator Akira Shibuya

The PhD program for multidisciplinary field (life and health science) in the Leading Graduate Schools

The PhD program for multidisciplinary field (life and health science) in the Leading Graduate Schools have been offered at 6 universities, including the Universities of Tsukuba, Tokyo, Tokyo Institute of Technology, Osaka, Kyoto, and Kumamoto. Students in the PhD programs are expected to be global leaders, who can manage projects of industry, government and/or academia and lead innovations toward the globalscaled problems by making use of the nurtured abilities of life and medical sciences, information sciences, technology, and humanity studies.



統合物質科学リーダー養成プログラム 東京大学

工学系研究科 教授・プログラムコーディネーター 川崎 雅司

統合物質科学リーダー養成プログラムの狙いと実績

物質科学の分野では、物理・化学・電子工学・材料科学などの融合・境界領域で発展した新しい科学技術がイノベーションを 誘起してきた。持続可能な社会の実現を牽引する博士人材を養成する上で本プログラムの可能性は高く責任は重い。最先端の専 門研究を基盤として、分野を越えた俯瞰力と柔軟性、知を創造し活用する力、広い視野と高い倫理性を育む施策を紹介する。

Materials Education Program for the Future Leaders in Research, Industry, and Technology (MERIT)

The University of Tokyo

Professor, Quantum-Phase Electronics Center, Graduate School of Engineering; Program Coordinator Masashi Kawasaki

Aim and achievement of MERIT program

In material science, many innovations have been brought about by novel science and technology emergent from the interdisciplinary fields in physics, chemistry, electrical and materials engineering. Our MERIT program has immense potential and responsibility for producing doctoral graduates who will lead the sustainable development of society in the future. We introduce the activities to promote, on top of advanced expertise, a holistic approach and flexibility in working across disciplines, the capacity to apply their knowledge creatively and constructively, and breadth of perspective and an appropriately ethical stance.

24

Sat

プログラムワークショップ

複合領域型 (情報)

Composite category

(Information)



24

Sat

ソーシャルICT グローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム 東京大学 大学院情報理工学系研究科 教授・プログラムコーディネーター

國吉 康夫

情報系複合領域プログラム群の展開状況とベストプラクティス

「複合領域型 - 情報 - 」では、「ソーシャル ICT」、「デザイン学」、「ヒューマンウェア」、「エンパワーメント情報学」、「実世 界データ循環学」、「ブレイン情報」、「実体情報学」の7つの新領域のグローバルリーダー育成を目指すリーディングプログラム が展開されている。情報と、人間・社会、実世界との新たな融合に取り組む各領域の特徴と、それを体現した人材育成の取組や 成果を対比しつつ、それらを総合して、情報系複合領域の将来像とそれを牽引する人材像および大学院改革について考えたい。

Graduate Program for Social ICT Global Creative Leaders (GCL) The University of Tokyo Professor, Graduate School of Information Science and Technology; Program Coordinator Yasuo Kuniyoshi

Progress and Best Practice of the Programs in Composite Category (Information)

In the "Composite Category (Information)", seven Programs for Leading Graduate Schools are in full progress of creating global leaders in the follwoing new fields; "Social ICT", "Design", "Humanware", "Empowerment Informatics", "Real-world Data Circulation", "Brain-Science-Information-Architects", "Embodiment Informatics". Each program pioneers a novel fusion of information, human/society, and the real world. In this talk, the characteristics of each field in conjunction with special training methods and results are contrasted with others. An integrative overview of the future of information related fields and the prospective leader talents, together with how graduate schools should evolve are also discussed.



未来共生イノベーター博士課程プログラム 大阪大学

未来共生イノベーター博士課程プログラム RESPECT プログラム 特任教授 脇阪 紀行

多文化共生社会

「多文化共生社会」を実現するためには、異質なものへの理解と包摂が極めて重要となる。このため、参加6プログラムはい ずれも、被災地や条件不利地域など、「現場」でのフィールドワークを重視。さらに、産官学や市民社会との連携による問題解 決への「協働」の取り組みに力をいれている。課題としては、履修生が「専門性」と「汎用性」の双方を得るための支援体制の 強化、キャリア開拓、プログラムの継続策などがあげられる。

Doctoral Program for Multicultural Innovation Osaka University Specially appointed Professor, Doctoral Program for Multicultural Innovation (RESPECT) Noriyuki Wakisaka

Multicultural Kyosei Society

In order to realize the 'Multicultural Kyosei Society', it is essential to understand the differences with others and be inclusive for them. Therefore all six programs have encouraged the program students to carry on a series of fieldworks on the sites such as devastated area in Tohoku and disadvantaged regions. Moreover these programs have supported them try to solve the various problems through the collaboration with different partners in the society. There still exist some challenges to be tackled; strengthening leadership capacity by acquiring both intellectual expertise and multicultural competences, career design and continuity of the program in the future.

Leading Forum 2015



グローバル生存学大学院連携プログラム 京都大学 防災研究所教授・プログラムコーディネーター 審 馨

複合領域型(安全安心)

複合領域型(安全安心)においては、京都大学、東北大学、高知県立大学において3つの優れたプログラムが採択されている。 人類の生存を脅かす巨大自然災害、人為災害事故、地域環境変動、食料安全保障を取り扱い、安全安心に関して「知る・創る・ 生きる」ことに貢献するグローバルリーダー、また、災害看護に関する課題に的確に対応・解決し、人々の健康社会構築と安全・ 安心・自立に寄与するグローバルリーダーを育成している。

Inter-Graduate School Program for Sustainable Development and Survivable Societies

Kyoto University Professor, Disaster Prevention Research Institute; Program Coordinator Kaoru Takara

Composite category (Safety & Security)

In this Composite category (Safety & Security), three excellent programs are adopted in Kyoto University, Tohoku University and the University of Kochi. Dealing with catastrophic natural disasters, man-made disasters and accidents, regional environmental change, and food security, which threat human survivability, these programs nurture global leaders who pursue harmonious coexistence within human and ecological community on this planet, who contribute to recognizing, creating and living in safety and security, or who respond to and solve worldwide-disaster nursing tasks with accuracy, show disciplinary leadership in global setting, build healthy society, and bring safety, reassurance and self-sufficiency.

複合領域型 (横断的テーマ) Composite category (Cross-cutting themes)

フォトンサイエンス・リーディング大学院 東京大学 大学院理学系研究科 教授・プログラムコーディネーター

相原 博昭

複合領域型 (横断的テーマ) 各プログラムの取組みと課題

博士課程教育リーディングプログラム事業における類型「複合領域型」は、「環境」「生命健康」「安全安心」「物質」「情報」「多 文化共生社会」の6テーマ領域と、それらテーマ領域の複数にまたがる「横断的テーマ」の7テーマからなる。本発表では、「横 断的テーマ」の6プログラムにおける、産学官でプロジェクトを統括しイノベーションを牽引するリーダーとして地球規模の課 題解決に立ち向かう人材の養成への取組みと課題を紹介する。

Advanced Leading Graduate Course for Photon Science (ALPS) The University of Tokyo Professor, Graduate School of Science; Program Coordinator Hiroaki Aihara

Approaches and Issues for Each Composite Category (Cross-Cutting Themes) Program

The "composite category" for Program for Leading Graduate Schools consists of seven themes: the six theme fields of "environment," "life science & health," "safety & security," "materials," "information," and "pluralistic society," and "cross-cutting themes" that overarches these multiple theme fields. This presentation will take six programs of "cross-cutting themes" and introduce their approaches and issues for fostering leaders who can synthesize industrial, academic and governmental projects and drive innovation in addressing global-scale issues.

ベントホ 15:30

24

Sat

プログラムワークショップ



数物フロンティア・リーディング大学院 東京大学 大学院数理科学研究科 教授・プログラムコーディネーター 河野 俊丈

数学を軸とする諸科学の横断的研究と社会から提起される問題への貢献

FMSP は東京大学大学院数理科学研究科と理学系研究科が連携し、Kavli IPMU と協力して遂行するプログラムです。諸科学 に広がりをもつ研究領域を開発し、先端数学の理論を創成するリーダーおよび、幅広い視野をもって、産業界などから提起され た問題などについても寄与することができる人材を育成するために行っている活動の事例を紹介します。

Leading Graduate Course for Frontiers of Mathematical Sciences and Physics (FMSP)

The University of Tokyo Professor, Graduate School of Mathematical Sciences; Program Coordinator Toshitake Kohno

Interdisciplinary study of various sciences based on mathematics and contributions to problems in society

The "Leading Graduate Course for Frontiers of Mathematical Sciences and Physics" (FMSP) is provided through the joint efforts of the Graduate School of Mathematical Sciences, the School of Science together with the Kavli IPMU, the University of Tokyo. We foster leaders for the next generation in research in mathematics, who are able to develop new research areas that transcend the boundaries of mathematics and various sciences. The FMSP program also aims to foster human resources with broad viewpoints, capable of making valuable contributions to problems raised in industry and environmental issues. We present examples of our activities for the above purpose.

25 Sun

1F

13:15

15:30

-		
1	Leading Forun	n 2015
- 1.3	ceadinground	1.4410.100



プログラム名	機関名	タイトル	ページ
Program Title	Institution	Title	Page
		on for Nurturing Creativity and Originality	
**************************************	如育1-1(Education1-1)	会議室E(Room E)	T
たおやかで平和な共生社会創生プログラム TAOYAKA PROGRAM for creating a flexible, enduring, peaceful society	広島大学 Hiroshima University	オンキャンパス教育とオンサイト教育 On-campus and On-site education	P19
グリーンエネルギー変換工学 Special Doctoral Program for Green Energy Conversion Science and Technology	山梨大学 University of Yamanashi	産業界・国内外の研究教育機関との連携による基礎・実学融合教育の展開 Collaboration in a new education by various academic and research institutes in Japan and abroad	P19
熱帯病・新興感染症制御グローバルリーダー育成プログラム Program for Nurturing Global Leaders in Tropical and Emerging Communicable Diseases	長崎大学 Nagasaki University	3年間の試行錯誤 3 years into our program-what works and what needs work	P20
グローバル安全学トップリーダー育成プログラム Inter-Graduate School Doctoral Degree Program on Science for Global Safety	東北大学 Tohoku University	学生自主企画研修によるリーダーシップ教育 Leadership training through project activities planned by students	P20
分子システムデバイス国際研究リーダー養成 および国際教育研究拠点形成 Development of Global Research Leaders in Molecular Systems for Devices and Establishment of an International Education and Research Center	九州大学 Kyushu University	GRPを核とした産学連携教育 Group Research Proposal (GRP) and Education Through Industry Collaborations	P21
PhDプロフェッショナル登龍門 PhD Professional:Gateway to Success in Frontier Asia	名古屋大学 Nagoya University	トランスファーラブル・スキルズ・トレーニング:英国の先例に学ぶ Transferable Skills Training:Learning from UK's experience	P21
情報生命博士教育院 Education Academy of Computational Life Sciences	東京工業大学 Tokyo Institute of Technology	グローバルリーダーに求められる問題解決力、コミュニケーション力, そしてキャリア構築力 Ability to resolve problems, communication skills and ability to shape career require to global leaders	P22
実世界データ循環学リーダー人材養成ブログラム Graduate Program for Real-World Data Circulation Leaders	名古屋大学 Nagoya University	データ・ツールズ・ハンズオン - データ処理ツールを習得するための特別実践コース - Data Tools Hands-on - a special course for teaching target applications and basic use of data processing tools -	P22
*	t育1-2 (Education1-2)	会議室F(Room F)	
超域イノベーション博士課程プログラム Cross-Boundary Innovation Program	大阪大学 Osaka University	イノベーション創出力の育成に向けた科目シーケンスの開発 Development of Comprehensive Coursework for Innovation Capability	P23
物質科学フロンティアを開拓するAmbitiousリーダー育成プログラム Ambitious Leader's Program Fostering Future Leaders to Open New Frontiers in Materials Science	北海道大学 Hokkaido University	数理連携とアクティブラーニングによる新たなグローバル人材の育成 Fostering Global Leaders Based on Mathematical Science and Active Learning	P23
災害看護グローバルリーダー養成ブログラム Disaster Nursing Global Leader Degree Program	高知県立大学 (兵庫県立大学、千葉大学、 東京医科歯科大学、 日本赤十字看護大学) University of Kochi (University of Kochi (University of Hyogo, Chiba University, Tokyo Medical and Dental University, The Japanese Red Cross College of Nursing)	国公私立5大学を結んだシミュレーション教育の工夫と挑戦 The creation and the challenge in disaster nursing simulation education among geographically separated five universities	P24
実体情報学博士プログラム Graduate Program for Embodiment Informatics	早稲田大学 Waseda University	イノベーションをおこすための教育カリキュラム Embodiment informatics: the educational curriculum for evoking innovations	P24
放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム Phoenix Leader Education Program (Hiroshima Initiative) for Renaissance from Radiation Disaster	広島大学 Hiroshima University	独創力を目指した分野横断的教育 Cross-Disciplinary Education that Fosters Creativity	P25
リーディング理工学博士プログラム Leading Graduate Program in Science and Engineering	早稲田大学 Waseda University	5年一貫制の新専攻における分野横断・複合的教育 Interdisciplinary and Integrated Five-Year Ph.D. Education in New Department	P25
グローバル秩序変容時代のリーダー養成プログラム GRIPS Global Governance Program – Advanced Program for Global Leaders in the Changing Worldー	政策研究大学院大学 National Graduate Institute for Policy Studies	世界のトッブリーダーを育てるカリキュラム編成について Curriculum for the leader of leaders in the world	P26

プログラムワークショップ



プログラム名 Program Title	機関名 Institution	タイトル Title	ペー Pag
教育2:コース	、 生支援 Education 2:Su	pport for Program Students	,
	会議室H (Roor	n H)	
文化資源マネージャー養成ブログラム Graduate Program in Cultural Resource Management	金沢大学 Kanazawa University	ブログラム生の研究・生活支援 Student support system of Kanazawa University Cultural Resource Manager Program	P2
多文化共生・統合人間学ブログラム Integrated Human Sciences Program for Cultural Diversity (IHS)	東京大学 The University of Tokyo	オーダーメイドの教育 Providing Customized Education	P2
重粒子線医工学グローバルリーダー養成ブログラム Program for Cultivating Global Leaders in Heavy Ion Therapeutics and Engineering	群馬大学 Gunma University	グローバルリーダー育成のための取組 Effort for cultivating global leaders	Р2
グローバル原子力安全・セキュリティ・エージェント養成 Global Human Resource Development Program for Nuclear Safety and Security	東京工業大学 Tokyo Institute of Technology	グローバルリーダー育成のための支援 Support for Global Leader Education	Р2
フォトンサイエンスが拓く次世代ビコバイオロジー lext generation picobiology pioneered by photon sciences	兵庫県立大学 University of Hyogo	留学生に配慮したグローバル教育支援体制 Global educational support system with special considerations for foreign students	P2
レアメタル等資源ニューフロンティアリーダー養成プログラム New Frontier Leader Program for Rare-metals and Resources	秋田大学 Akita univeristy	プログラムの自立と学生支援 Program independence and student supports	P2
免疫システム調節治療学推進リーダー養成プログラム Nurture of Creative Research Leaders n Immune System Regulation and Innovative Therapeutics	千葉大学 Chiba University	治療学推進リーダー養成支援体制 Beyond Expertise: Supporting Future Therapeutic Leaders	P2
グローカルな健康生命科学バイオニア養成ブログラムHIGO HIGO (Health life science: Interdisciplinary and Glocal Oriented) Program	熊本大学 Kumamoto University	HIGOブログラムの学生支援体制 Unique features of the HIGO Program's student support	P3
教育3:コース生の到達度評価	Education 3 : Evaluat	ion Methods for Academic Achievement	
教	育3-1 (Education3-1)	会議室C (Room C)	
超成熟社会発展のサイエンス Science for Development of Super Mature Society	慶應義塾大学 Keio University	ダブルメジャー取得による文理融合教育 Foundation of Integration of Arts and Sciences with Double Major Education	P3
環境エネルギー協創教育院 Academy for Co-creative Education of Environment and Energy Science	東京工業大学 Tokyo Institute of Technology	異分野・産官学・国際連携協創教育によるグローバルリーダーとしての能力の涵養 Fostering the ability as a global leader through interdisciplinary, industry-government-university and international cooperative co-creative education	P3
グリーン自然科学国際教育研究プログラム Integrative Graduate Education and Rasearch Program in Green Natural Sciences	名古屋大学 Nagoya University	大学院教育の可視化とキャリアパス形成 Visualization of graduate school education and career path support	P3
統合物質科学リーダー養成プログラム Materials Education Program for the Future Leaders in Research, Industry, and Technology (MERIT)	東京大学 The University of Tokyo	副指導教員とポイント管理 Double Mentorship & Achievement Evaluation	P3
フォトンサイエンス・リーディング大学院 Advanced Leading Graduate Course for Photon Science (ALPS)	東京大学 The University of Tokyo	ALPSの描く博士人材像と修了生の活躍について ALPS' Vision for Doctorate Personnel and the Activities of its Graduates	P3
生体統御ネットワーク医学教育ブログラム Interdisciplinary Program for Biomedical Sciences	大阪大学 Osaka University	IPBSが養成しようとする人材像とその到達度 What IPBS nurtures: image and achievement	P3
法制度設計・国際的制度移植専門家の養成プログラム The Program for Cross-Border Legal Institution Design	名古屋大学 Nagoya University	法制度・政治制度設計の専門家育成のための教育の達成度評価 Educational Program for the Experts of Legal and/or Political Institution Design	P3
「みがかすば」の精神に基づきイノベーションを創出し続ける 理工系グローバルリーダーの育成 Fostering long-term creativity and innovation with science and technology disciplines based on Ochanomizu spirit Migakazuba' in the next generation of global leaders.	お茶の水女子大学 Ochanomizu University	お茶大Project Based Team Studyの概要とその実績 Summary and Achievement of Project Based Team Study in Leading Program of Ochanomizu University	P3
教	育3-2(Education3-2) :	会議室D(Room D)	
霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院 The Leading Graduate Program in Primatology and Wildlife Science	京都大学 Kyoto University	フィールドワークを礎に、学問と実践をつなぐグローバルリーダーを育成する To nurture global leaders that can interconnect their academic field and hands-on experience, using fieldwork as its foundation	P3
グリーンアジア国際戦略ブログラム Advanced Graduate Program in Global Strategy for Green Asia	九州大学 Kyushu University	Green Asia Programの基本コンセプトと新たな文理融合 Fundamental concept of Green Asia Program helping a new plane of multidisciplinary merging science & engineering and social science & humanities	P3
ファイバールネッサンスを先導するグローバルリーダーの養成 Global Leader Program for Fiber Renaissance	信州大学 Shinshu University	ファイバールネッサンスを先導する人材となるために求められるもの Targets of Global Leader Program for Fiber Renaissance	P3
ヒューマンバイオロジー学位ブログラム Ph.D.Program in Human Biology	筑波大学 University of Tsukuba	「学生の自己成長を促進する形成的評価システムGLidD」について Growth & Learning identification powered by Instructional Design "GLidD"	PS
ライフイノベーションを先導するリーダー養成プログラム Graduate Program for Leaders in Life Innovation (GPLLI)	東京大学 The University of Tokyo	GPLLIの取り組みとその成果 GPLLI's approach and the results	P3
ヒューマンウェアイノベーション博士課程ブログラム Humanware Innovation Program	大阪大学 Osaka University	大阪大学ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラムにおける 学生到達度評価の試みについて A Skill Achievement Assessment System in Osaka University Humanware Innovation Program	P3
グローバル生存学大学院連携プログラム Inter-Graduate School Program for Sustainable Development and Survival Societies	京都大学 Kyoto University	GSSfolio: 履修状況の自己点検・評価のためのeボートフォリオ GSSfolio: an ePortfolio for self-examination and evaluation of course achievement	P3
グローバルリーダー教育院 Academy for Global Leadership	東京工業大学 Tokyo Institute of Technology	AGLが目指すリーダー像と社会の要請 The Image of Leaders that AGL Aims at and Social Demands	P3

Leading Forum 2015

25 Sun



ブログラム名 Program Title	機関名 Institution	タイトル Title	ページ Page
		ciety 1: Response and Contribution to Changing Society	
社会連携1-1	Cooperation with Socie	ty1-1) 会議室A (Room A)	
数物フロンティア・リーディング大学院 Leading Graduate Course for Frontiers of Mathematical Sciences and Physics (FMSP)	東京大学 The University of Tokyo	数学をコアにした社会連携のリーダー育成 Initiatives in interdisciplinary collaborations: fostering leaders with a mathematical approach	P38
グリーン・クリーン食料生産を支える実践科学リーディング大学院の創設 Creation of the Practical Science Leading Graduate School for Green and Clean Food Production	東京農工大学 Tokyo University of Agriculture and Technology	グローバル社会を動かすリーダー育成のための実践的取組 Practicing activity for the leader upbringing towards global society	P39
デザイン学大学院連携プログラム Collaborative Graduate Program in Design	京都大学 Kyoto University	デザインによる社会システムのエンビジョンメント Envisioning the Future through Design	P39
「ウェルビーイング in アジア」実現のための女性リーダー育成プログラム Women Leaders Program to Promote Well-being in Asia	名古屋大学 Nagoya University	名古屋大学における女性リーダー育成の取組 Approach to cultivation of women leaders at Nagoya University	P40
充実した健康長寿社会を築く総合医療開発リーダー育成プログラム Training Program of Leaders for Integrated Medical System for Fruitful Healthy-Longevity Society	京都大学 Kyoto University	新しい健康・医療へ向けた医工連携の取組み Medico-Engineering Cooperation for Medical Revolution	P40
アジア非感染性疾患(NCD)超克プロジェクト Reducing the Burden of Non-communicable Disease (NCD) in the Asian Pacific Region	滋賀医科大学 Shiga University of Medical Science	アジアで増え続ける非感染性疾患(NCD)に対応できるリーダーの育成 Education of future global leaders who will play an active role in developing the measures against non-communicable disease (NCDs) in the Asian Pacific region	P41
	(Cooperation with Socie	ety1-2) 会議室B(Room B)	
持続可能な社会を拓く決断科学大学院プログラム Graduate education and research training program in decision science for a sustainable society	九州大学 Kyushu University	地域づくりと持続可能な社会への国際連携 Community design and international collaboration toward a sustainable society	P41
未来共生イノベーター博士課程ブログラム Doctoral Program for Multicultural Innovation	大阪大学 Osaka University	未来共生の課題へ挑むための実践からの学び(ブラクティカル・ワーク) Practical work to solve the challenging tasks of "Mirai Kyosei"	P42
活力ある超高齢社会を共創するグローバル・リーダー養成プログラム Graduate Program in Gerontology: Global Leadership Initiative for an Age-Friendly Society (GLAFS)	東京大学 The University of Tokyo	活力ある超高齢社会を構想し実現する人材を育成する Fostering capable persons who will design and realize an age-friendly society	P42
社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー養成ブログラム Global Leader Program for Social Design and Management (GSDM)	東京大学 The University of Tokyo	文理融合で世界を先導する「知と実践のブロフェッショナル」の育成 Educate and train "professionals of knowledge and practice" to lead the world with an interdisciplinary approach	P43
サステイナビリティ学グローバルリーダー養成大学院プログラム Graduate Program in Sustainability Science - Global Leadership Initiative (GPSS-GLI)	東京大学 The University of Tokyo	サステイナブルな社会構築に向けた人材育成と社会連携のあり方 Human resource development through collaboration between society and university towards sustainable world	P43
エンパワーメント情報学ブログラム Ph.D.Program in Empowerment Informatics	筑波大学 University of Tsukuba	展示を通じて社会との接点を作るエンパワーメント情報学ブログラム PhD. Program in Empowerment Informatics Interacts with Society through Exhibition	P44
社会連携2:インターンシップとキ	ャリアパス Cooperation	with Society 2: Internships and Career Paths	
	会議室G (Roor	n G)	
マルチディメンジョン物質理工学リーダー養成プログラム Interdepartmental Doctoral Degree Program for Multi-dimensional Materials Science Leaders	東北大学 Tohoku University	共同研究から長期企業インターンシップを経たシームレスキャリア移行 Seamless shift of student's career through long term internship via cooperative work with company	P44
システム発想型物質科学リーダー養成学位プログラム Graduate Course for System-inspired Leaders in Material Science	大阪府立大学(大阪市立大学) Osaka Prefecture University (Osaka City University)	産業率引型に的を絞ったリーダーの養成 Education program for innovative material scientists motivated to become industrial leaders	P45
ソーシャルICT グローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム Graduate Program for Social ICT Global Creative Leaders(GCL)	東京大学 The University of Tokyo	GCL長期インターンシップの目標と実装上の課題 Goals and Challenges of GCL Long-term Internship	P45
超大規模脳情報を高度に技術するプレイン情報アーキテクトの育成 Innovative program for training brain-science-information 	豊橋技術科学大学 Toyohashi University of Technology	やはり末は博士か? Is still getting Ph. D. the goal of R&D career path?	P46
グローバル・リソース・マネジメント			
Advanced Doctoral Program in Global Resource Management	同志社大学 Doshisha University	GRMのキャリア支援戦略-インターンシップを中心として Career Support for students by Doshisha University's Global Resource Management (GRM) Program:Focusing on internship	P46
Advanced Doctoral Program in Global Resource Management フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院 Innovative Flex Course for Frontier Organic Material Systems (iFront)		Career Support for students by Doshisha University's	P46 P47
in Global Resource Management フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院 Innovative Flex Course for Frontier Organic Material	Doshisha University 山形大学	Career Support for students by Doshisha University's Global Resource Management (GRM) Program:Focusing on internship 有機材料システム国際研究拠点を活用した人材育成 Producing tomorrow's leading engineers utilizing unique international	
in Global Resource Management フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院 Innovative Flex Course for Frontier Organic Material Systems (iFront) フロンティア宇宙開拓リーダー養成プログラム Leadership Development Program	Doshisha University 山形大学 Yamagata University 名古屋大学 Nagoya University	Career Support for students by Doshisha University's Global Resource Management (GRM) Program: Focusing on internship 有機材料システム国際研究拠点を活用した人材育成 Producing tomorrow's leading engineers utilizing unique international base for organic material systems 原則全員インターシップ経験	P47
in Global Resource Management フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院 Innovative Flex Course for Frontier Organic Material Systems (iFront) フロンティア宇宙開拓リーダー養成プログラム Leadership Development Program for Space Exploration and Research One Healthに貢献する獣医科学グローバルリーダー育成プログラム Fostering Global Leaders in Veterinary Science	Doshisha University 山形大学 Yamagata University 名古屋大学 Nagoya University 北海道大学	Career Support for students by Doshisha University's Global Resource Management (GRM) Program:Focusing on internship 有機材料システム国際研究拠点を活用した人材育成 Producing tomorrow's leading engineers utilizing unique international base for organic material systems 原則全員インターシップ経験 All students heading for Corporate Internships グローバル人材の育成を推進する海外インターンシップ ー国際機関との実質的な連携ー Internships abroad for fostering global human resources	P47 P47
in Global Resource Management フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院 Innovative Flex Course for Frontier Organic Material Systems (iFront) フロンティア宇宙開拓リーダー養成プログラム Leadership Development Program for Space Exploration and Research One Healthに貢献する獣医科学グローバルリーダー育成プログラム Fostering Global Leaders in Veterinary Science for Contributing to One Health 京都大学大学院思修館 Graduate School of Advanced Leadership Studies.	Doshisha University 山形大学 Yamagata University 名古屋大学 Nagoya University 北海道大学 Hokkaido University 京都大学	Career Support for students by Doshisha University's Global Resource Management (GRM) Program: Focusing on internship 有機材料システム国際研究拠点を活用した人材育成 Producing tomorrow's leading engineers utilizing unique international base for organic material systems 原則全員インターシップ経験 All students heading for Corporate Internships グローバル人材の育成を推進する海外インターンシップ ー国際機関との実質的な連携ー Internships abroad for fostering global human resources ーcooperation with international organizations 海外武者修行と海外インターンシップ	P47 P47 P48

Program Workshop • 18

プログラムワークショップ



教育 1-1 Education 1-1 会議室 E (Room E)

たおやかで平和な共生社会創生プログラム

広島大学

オンキャンパス教育とオンサイト教育

たおやかプログラムは、多文化共生課題に挑戦するグローバルリーダーを育成します。分野横断の専門知識を習得するオンキャンパス教育と条件不利地域でのオンサイト教育により、ニーズから発想し、オンサイト・リバースイノベーションを推進する、 多文化共生社会の創生にむけた、イノベーションリーダーとして活躍するために必要な力を育成する、学生提案支援型教育を実施します。

TAOYAKA PROGRAM for creating a flexible, enduring, peaceful society Hiroshima University

On-campus and On-site education

The goal of Taoyaka Program for creating a flexible, enduring, and peaceful society is to educate PhD students to find effective and innovative solutions for multicultural coexistence issues specifically in disadvantaged regions. We provide learners enriched learning environment in both on-campus and on-site in order to become innovative global leaders. Our on-campus education helps students gain specialized and cross-disciplinary knowledge. On-site education then provides learners with an opportunity to utilize their knowledge and analyze regionally specific issues in order to create and implement reverse-innovational plans tailored to their research areas. Ultimately, our students will support, promote, and lead multicultural coexistence society considering voices and needs from the community.



教育 1-1 Education 1-1 会議室 E (Room E)

グリーンエネルギー変換工学

山梨大学

産業界・国内外の研究教育機関との連携による基礎・実学融合教育の展開

1) 産官学の連携教員が講義、学位審査、国際セミナー等に参加:学生のキャリアパスの具体的イメージ形成にも貢献。2) 月 例発表会や国際セミナーの運営に学生が自主的に参加:リーダーシップと将来に亘るネットワークを育み、ポスター発表やグル ープ討論を通じて討論能力も鍛錬。3) 企業インターンシップによる実学の研鑚と海外留学:応用力、汎用力が顕著に向上。

Special Doctoral Program for Green Energy Conversion Science and Technology

University of Yamanashi

Collaboration in a new education by various academic and research institutes in Japan and abroad

1)Visiting professors from collaborating companies & institutes play an important role in qualifying examinations, international seminars, regular subjects, etc., which also promote the student's sense for the career path. 2)Students have performed the planning & management of the international seminars or monthly meetings (for presentation & discussion), all of which have been really effective to foster their leadership and to form an international network in their future. 3)The broad perspective, sense of applicability, global communication skills, or development ability have been greatly improved by the internships in companies (one month) and the overseas study at collaborating universities and institutes (6 months).

25

Sun

10:00

12.00

Leading Forum 2015

教育 1-1 Education 1-1 会議室 E (Room E)



熱帯病・新興感染症制御グローバルリーダー育成プログラム 長崎大学

3年間の試行錯誤

感染症分野でグローバルリーダーを目指す学生は、様々な国から多様な背景を持って集まっている。入学直後の「グループ学 習と発表」主体の授業により、学生同士の相互理解と絆が生まれ、研究や日々の授業の他に学生による様々な自主的活動が立ち 上がっている。これは成果といえるが、一方、だからこそ未だ乗り越えられない課題も明らかとなった。今回、この課題に焦点 を当て討論の一助としたい。

Program for Nurturing Global Leaders in Tropical and Emerging Communicable Diseases

Nagasaki University

3 years into our program-what works and what needs work

We currently have over 40 students in Nagasaki University's Leading Program. They have come from over 18 different countries and many different backgrounds. They are all motivated by the desire to become leaders in infectious disease management. As they have come together, they have bonded and fostered a very important mutual understanding through their constant interaction at work and extracurricular activities. Our active learning program coupled with high self-motivation has proven very successful. However, as with any new program, we have growing pains. These problems are what I would like to talk about today.

教育 1-1 Education 1-1 会議室 E (Room E)



グローバル安全学トップリーダー育成プログラム 東北大学

学生自主企画研修によるリーダーシップ教育

本プログラムでは、学生自身がグローバル安全学の目的や趣旨に合った課題を自主的に設定し、実践的な取り組みを行うこと を推奨し、必要に応じて経費支援も行っている。十分な内容・成果を有する活動は、3~5年次の研修科目として単位を認定す る。本活動は、リーダーシップをはじめ問題設定能力、コミュニケーション能力等のリーダーとして必要な能力養成に極めて有 益である。

Inter-Graduate School Doctoral Degree Program on Science for Global Safety

Tohoku University

Leadership training through project activities planned by students

We recommend students to propose and carry out practical project works which are in accord with the purpose and object of the Global Safety Program. Financial support is provided after examining each proposal. If a project has sufficient contents and results, students engaged it will gain credits for the training subjects of the 3rd-5th year course. This project activities are very useful to develop student's leadership and other abilities required for leaders such as problem setting, communication skill, and so on. The proposed projects include a field activity in the affected area of the Great East Japan Earthquake and Tsunami, development of teaching materials for the disaster mitigation education, development of a volcano observation device, and so on.



プログラムワークショップ



教育 1-1 Education 1-1 会議室 E (Room E)

分子システムデバイス国際研究リーダー養成および国際教育 研究拠点形成 九州大学

GRPを核とした産学連携教育

本プログラムでは、専門の異なる数名のコース生からなるグループによる新たな研究計画の立案(グループリサーチプロポー ザル、GRP)を教育の核として位置付けている。核となるアイデアの実証試験、知的財産価値の評価を踏まえ、産学官連携体制 で GRP を実施することにより、自らの提案の科学的及び社会的価値を理解し、高いビジョンを掲げることのできる人材の育成 に取り組んでいる。

Development of Global Research Leaders in Molecular Systems for Devices and Establishment of an International Education and Research Center Kyushu University

Group Research Proposal (GRP) and Education Through Industry Collaborations

One of the cornerstones of this course is the Group Research Proposal (GRP). Several students with different research specialties work together as a team to develop a research proposal that considers both scientific potential and contributions to society. Students conduct experiments based on their research ideas and assess intellectual property potential. Students engage in these activities with cooperation from partners from private industry, and will develop talented individuals who can generate bold visions for the future.





PhD プロフェッショナル登龍門

名古屋大学

トランスファーラブル・スキルズ・トレーニング:英国の先例に学ぶ

博士課程教育リーディングプログラムの大きな目的は、博士人材が社会で広く活躍することにある。英国では、すでに10年以上、そのためのプログラム、トランスファーラブル・スキルズ・トレーニングが活発に行われてきている。名古屋大学が エディンバラ大学と連携して導入をはかっている本トレーニングと、併せて、英国の博士人材・研究人材育成を支援する組織 VITAE について報告する。

PhD Professional: Gateway to Success in Frontier Asia Nagoya University

Transferable Skills Training: Learning from UK's experience

The most important aim of Program for Leading Graduate Schools is to foster excellent PhD students becoming future top leaders of Society. In UK, it's been already more than 10 years since they started Transferable Skills Training in which a wide range of transferable, employment-related and generic research skills training courses is provided. In my talk, I will explain this training program that is being introduced by collaboration with Institute for Academic Development, University of Edinburgh as well as VITAE which is an independent organization to support fostering PhDs in UK.

Leading Forum 2015



24 Sat

プログラムワークショップ

レファレンス センター Conference Center

10:00 12.00

教育 1-2 (Education 1-2) 会議室 F (Room F)

超域イノベーション博士課程プログラム

大阪大学

イノベーション創出力の育成に向けた科目シーケンスの開発

大阪大学超域イノベーション博士課程プログラムでは、未知で複雑で困難な社会課題の解決を先導する新たな博士人材の育成 に取り組んでおり、学ぶべき事項や解くべき課題の認識、要素としての知識やスキルの獲得、ワークショップやプロジェクトを 通じたそれらの統合化、専門研究や社会での実践による強化からなる"学修のスパイラル"として、独自の教育課程を開発して いる。

Cross-Boundary Innovation Program Osaka University

Development of Comprehensive Coursework for Innovation Capability

The Cross-Boundary Innovation Program of Osaka University aims to cultivate new-generation doctoral graduates who can engage with varied values and fields, and realize the type of socially beneficial innovation that is only possible by crossing boundaries. Its coursework has been designed as an active spiral of diverse learning through newly developed subjects and activities. The program consists of subjects for identifying issues and problem-solving strategies, for obtaining a range of knowledge and skills, and for integrating individual components to forge a holistic innovation capability through workshops and project-based learning. Obtained knowledge and skills are further reinforced through activities that stress research and practical experiences, such as internships.



教育 1-2 (Education 1-2) 会議室 F (Room F)

物質科学フロンティアを開拓する Ambitious リーダー育成 プログラム 北海道大学

数理連携とアクティブラーニングによる新たなグローバル人材の育成

物質科学のフロンティアを開拓できるグローバル人材育成のため、本プログラムでは、数理連携の概念と問題発見・解決手法 としてのアクティブラーニングを取り入れることで、多様で膨大な情報から問題の本質を見抜き、その解決方法を専門の異なる 多くの国際的な集団との議論を通して見出し、問題解決に向けて未知の領域にその一歩を踏み出せる人材の育成を目指す。

Ambitious Leader's Program Fostering Future Leaders to Open New Frontiers in Materials Science

Hokkaido University

Fostering Global Leaders Based on Mathematical Science and Active Learning

To foster global leaders to open new frontiers in material science, concept of mathematical science and active learning as methods to solve the complex issues of modern society were introduced into this program. We expect that the students participating in this program will develop their abilities to find out the significance from enormous amounts of data from different sources and to define the strategies to overcome the problems through the active learning in the international discussion groups from different background, which allow them to take the first step into new frontiers.

Leading Forum 2015



教育 1-2 (Education 1-2) 会議室 F (Room F)

災害看護グローバルリーダー養成プログラム

高知県立大学(兵庫県立大学、千葉大学、東京医科歯科大学、 日本赤十字看護大学)

国公私立5大学を結んだシミュレーション教育の工夫と挑戦

災害への備えや対応は、日本は勿論世界の喫緊課題となっている。人々の生活と健康を守るために、量的・質的に優れた看護 職の育成が求められている。本リーディングプログラムは、共同教育課程である。災害看護学の構築に取り組んできた国公私立 の5大学院が結集し、総力を挙げて教育に取り組んでいる。特に、災害という状況の特異性から、シミュレーションを用いた教 育技法が必要である。地理的に離れた5大学をどのようにつなぎ、教育を行っているのか、その工夫と挑戦について説明する。

Disaster Nursing Global Leader Degree Program

University of Kochi (University of Hyogo, Chiba University, Tokyo Medical and Dental University, The Japanese Red Cross College of Nursing)

The creation and the challenge in disaster nursing simulation education among geographically separated five universities

Disaster preparedness and prevention have become the urgent issue tasks for Japan as well as for the world. There is a great demand for qualified nurses in quality and in number for better protection of lives and health of the people in all phases of disaster. This presentation explains the Leading Program as a collective education program at the five private and public universities, which have pull together their strengths and resources to educate future Disaster Nursing Global Leaders (DNGL). Especially, the presentation focuses on the creation and the challenge in simulation education among geographically separated five universities.



Embodiment Informatics

教育 1-2 (Education 1-2) 会議室 F (Room F)

実体情報学博士プログラム

早稲田大学

イノベーションをおこすための教育カリキュラム

イノベーションを起こす創造性とは、様々な経験と知識の積み上げの中から、ニーズに応えられるシーズの新しい組み合わせ に辿り着くことである。課題となるのは、経験と知識を蓄える方法論である。本プログラムでは、機械と情報の両分野からの刺 激を、学生間、学生・教員間で授受できる場である「工房」を用意し、カリキュラムでは異分野科目群を必修とする単位設定、 方法論を学ぶイノベーション事例研究科目の設置を行っている。

Graduate Program for Embodiment Informatics Waseda University

Embodiment informatics: the educational curriculum for evoking innovations

The creativeness to bring about innovation is to realize a new combination of seeds meeting users' needs based on various experience and acquisition of knowledge. The problem is how to design a method to acquire experience and knowledge. One approach is to prepare for "Ba" (a common place) receiving interdisciplinary stimulation. Waseda Embodiment-Informatics program designed "Kobo" (the Studio) as a "Ba" where students interacted with each other from both fields of mechanical engineering and computer science. In addition, the program has several required courses of study including interdisciplinary subjects and case studies of innovation.

25 Sun



プログラムワークショップ



教育 1-2 (Education 1-2) 会議室 F (Room F)

放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム

独創力を目指した分野横断的教育

本プログラムでは、専門性と学際的な知識と実践力をもって放射線災害復興に対応できるグローバル人材を育成するため、分 野横断的・実践的な教育を実施している。本報告では、分野を横断した教員チームによる研究指導体制、分野を超えた横断的知 識を学生が主体的に習得する分野融合セミナー、分野融合的実践力を身に付けるために、被災地において3コース合同で実施す るフィールドワークを紹介する。

Phoenix Leader Education Program (Hiroshima Initiative) for Renaissance from **Radiation Disaster**

Hiroshima University

Cross-Disciplinary Education that Fosters Creativity

Our program provides a cross-disciplinary and practical education. Its fundamental purpose is to develop global personnel with the expertise, interdisciplinary knowledge, and practical skills to take appropriate actions in support of recovery from a radiation disaster. In our presentation, we will introduce the research guidance system that is used by a team of advisors drawn from across many academic fields. We will also discuss: a) Our 'Interdisciplinary Integrated Seminars' which offer students the opportunity to acquire crossdisciplinary knowledge; and b) the short-term fieldwork, which occurs jointly among the three courses, and takes place in disaster affected areas allowing students to gain practical interdisciplinary skills.

教育 1-2 (Education 1-2) 会議室 F (Room F)



リーディング理工学博士プログラム

早稲田大学

5年一貫制の新専攻における分野横断・複合的教育

「エネルギー・ネクスト」の旗のもと、次々世代のエネルギー科学・技術を担う理工系人材の育成を、5年一貫制の新専攻に おいて柔軟かつ持続的に推進している。上級専門科目や対話型演習などにより、物理、化学、電気、生命科学などを横断する高 度な専門力を、文理融合と産学連携により俯瞰力を、そして海外の大学と企業への長期派遣により進取力を、協奏的に鍛錬して いる。

Leading Graduate Program in Science and Engineering Waseda University

Interdisciplinary and Integrated Five-Year Ph.D. Education in New Department

We are fostering Ph.D. students who will play a key role in the next-generation energy science and technologies under the flag of "Energy-Next". All the students are enrolled in new Department, triggered in 2014 by this Leading Program, which is formed with straight five-year doctoral course. Along this program, the students acquire the high-quality expertise, in a discipline -encompassing framework with crossing the fields of physics, chemistry, electrical engineering and bioscience, through specialized subjects and dialoguebased practices. Broad competency is acquired with industry-academia collaboration and integration of arts and sciences subjects. The students are also encouraged for powerful drive through experience of workings at oversea institutions and companies for three months.

25

0:00 12:00

Leading Forum 2015

教育 1-2 (Education 1-2) 会議室 F (Room F)



グローバル秩序変容時代のリーダー養成プログラム 政策研究大学院大学

世界のトップリーダーを育てるカリキュラム編成について

政治学、経済学、歴史学の三つを基礎科目とし、現在の諸課題を、広い文脈の中で把握する大局観を涵養する。国内外から多 様な実務家を講師に招き、指導者としての実践例を学ぶ。少人数によるチュートリアル形式の授業では、特定の政策課題等につ いて集中的な議論を行う。日本人学生と留学生が、ともに英語で学ぶことで、国際的なコミュニケーション能力をも身につける。

GRIPS Global Governance Program – Advanced Program for Global Leaders in the Changing World –

National Graduate Institute for Policy Studies

Curriculum for the leader of leaders in the world

The curriculum aims at nurturing leader of leaders with a broad, historical perspective that helps him/ her to draw big pictures on policy issues (or Taikyoku-kan in Japanese). It requires every student to take economics, history, and political science as basic courses which are taught entirely in English. A distinctive feature of the program is diverse backgrounds of students who come from all over the world with certain working experiences. Another feature is its teaching staff, which includes nationally and internationally renowned guest speakers—many of whom are former ministers and top business leaders. In addition, we offer compulsory small-group tutorials in which students can further cultivate their analytical and communication skills.

教育2(Education 2) 会議室H(Room H)



文化資源マネージャー養成プログラム

金沢大学

プログラム生の研究・生活支援

当プログラムでは、プログラム生の生活支援のための学生寮入室手配や奨励金支給(月額 145,000 円)のほか、プログラム 生の半数を占める留学生のケアを担うメンターをおいて、生活・研究の両面を支援している。メンターは留学生の出身4国のそ れぞれを研究フィールドとするプログラム担当教員で、各留学生の研究テーマに近い専門領域の研究者であり、またそれぞれの 現地語をも併用して指導と助言にあたっている。

Graduate Program in Cultural Resource Management Kanazawa University

Student support system of Kanazawa University Cultural Resource Manager Program

Our program supports program students in research activities as well as in college life, with arranging dormitory, providing monthly scholarship (145,000 yen per month), and posting four mentors for foreign students both to supervise research plan and to give advises in daily life. Each mentor is in charge of students from one of four countries from where our program students come.

25 Sun



プログラムワークショップ



教育2(Education 2) 会議室H(Room H)

多文化共生・統合人間学プログラム 東京大学

The University of Tokyo

オーダーメイドの教育

本プログラムでは、グローバル化社会における多元的共生の諸課題を解決するための学知である「統合人間学」を修め、地球 市民として多文化共生社会実現のため、社会との連携創造的・具体的に実践する次世代トップリーダー養成を目的の一つとして いるが、具体的な支援として、プログラム・カルテ制度や国際メンターズチーム制度などを設けている。本発表ではその概要と 具体的な事例について報告する。

Integrated Human Sciences Program for Cultural Diversity (IHS) The University of Tokyo

Providing Customized Education

The aim of our Integrated Human Sciences Program for Cultural Diversity (IHS) is to produce leaders of the next generation who would utilize the knowledge and skills they acquire through their interdisciplinary study of Integrated Human Sciences. Our new academic discipline, focusing on the solution of problems presented by the need for pluralistic coexistence in our globalized society, is to contribute, in creative and concrete ways, to the betterment of our multicultural societies. This presentation will introduce some of IHS' unique graduate education features for supporting individual students, such as Program Progress Chart and International Mentors Team.

教育2(Education 2) 会議室H(Room H)



群馬大学

グローバルリーダー育成のための取組

当養成プログラムでは(1)大学院生自らが立案・実施するプロジェクトのための研究費は、学生間における競争的環境で獲 得できるようにしている。(2)関連分野の学際的研究創生に向けた大学院生による国際ワークショップを実施している。(3) 欧米の一流研究室への短期留学や国際学会での研究成果の発表を通じて国外における認知度を高め、国際的な人脈作りをするた めの支援を行っている。

Program for Cultivating Global Leaders in Heavy Ion Therapeutics and Engineering

Gunma University

Effort for cultivating global leaders

We are engaged on supporting the following three projects: (1) a graduate student can get a research grant for the project that he by himself plans and conducts; (2) graduate students by themselves conduct international workshop for the creation of multidisciplinary frontier sciences; and (3) selected graduate students visit the prestigious laboratory in leading countries of the West or present their study results in international congresses so that they can build up a network of global leaders from their earlier years.

25

5F ンファレンス センター Conference Center

10:00

12:00





教育2(Education 2) 会議室H(Room H)

グローバル原子力安全・セキュリティ・エージェント養成 東京工業大学

448-441101-4----

グローバルリーダー育成のための支援

本学位プログラムに選抜された学生は、道場主(教員)も一緒に住む「全寮制の世界原子力安全・セキュリティ道場」に入門 し、互いに切磋琢磨する道場生活を体験することにより、リーダーとしての自覚を養っている。更に、専門科目以外に、原子力 道場科目、原子力安全・セキュリティ科目、教養科目や国内外のインターシップ等を履修することにより、幅広い社会性、国際性、 人間性を有する卓越したグローバルリーダーとしての能力を養成している。

Global Human Resource Development Program for Nuclear Safety and Security

Tokyo Institute of Technology

Support for Global Leader Education

The students selected will join a full boarding program at the dormitory called the "Global Nuclear Safety and Security Agent Dojo," living and learning together with supervisors, who will not only care about their students but also help them to become leading global professionals through stimulating discussions at Dojo. The students in this program are expected to acquire knowledge not only in basic and specific science and engineering, but also expertise in nuclear safety and security, high-level global liberal arts (politics, history, arts, culture, two foreign languages) and other areas. Through the domestic and international internship programs and life at the Dojo, we hope students will learn to become global leaders with distinguished professional competence and social literacy.



教育2(Education 2) 会議室H(Room H)

フォトンサイエンスが拓く次世代ピコバイオロジー

兵庫県立大学

留学生に配慮したグローバル教育支援体制

留学生が英語のみで勉学や研究を行えるよう、専門科目の講義や実習はすべて英語で実施している。外部講師に対しても、可 能な限り英語での講義をお願いしており、それが不可能な場合は必要に応じてプロの同時通訳を依頼している。学生は大多数が 混住型の寮で生活しているため、日本人学生が留学生の日常生活支援を自然に行うことになり、このことは英語力や国際感覚の 向上に役立っている。

Next generation picobiology pioneered by photon sciences University of Hyogo

Global educational support system with special considerations for foreign students

All of the lectures and technical courses of specialized subjects are given in English so that foreign students can study only in English. We also ask visiting lecturers for the lectures in English as much as possible, and when it is impossible, we ask for professional simultaneous interpreter, as necessary. Because the large majority of students are living in the same dormitory, Japanese students will naturally support foreign students' everyday life. This greatly helps the improvement of Japanese students' English and cosmopolitan outlook.

25 Sun



プログラムワークショップ



プログラムの自立と学生支援

秋田大学リーディングプログラムは、資源ニューフロンティアリーダーの養成を目的に関係機関と協働し当該プログラムを推 進している。既に構築した基幹部分は新設する大学院に移行するため、専門教育の継続と自立の方向性はほぼ定まっているが、 学生支援については学内予算に限りがあるため、外部機関との連携によって留学生を積極的に受け入れるなど、プログラムの特 徴を活かした方策を検討している。

New Frontier Leader Program for Rare-metals and Resources Akita univeristy

Program independence and student supports

The leading program of Akita University is cooperatively progressing with various external organizations to educate new frontier leaders on the field of resources. We are planning to move the framework of the original curriculums from leading program to new graduate school which will be established in 2016, however, it is difficult to keep up for student support such as same level of leading program. Therefore, we are optionally considering the program actively independence such as to educate the foreign students with external collaboration.

教育2(Education2) 会議室H(RoomH)



免疫システム調節治療学推進リーダー養成プログラム

千葉大学

治療学推進リーダー養成支援体制

千葉大学の免疫システム調節治療学推進リーダー養成プログラムでは、難治性の免疫関連疾患に特化した治療学推進能力に加 え、国際的に活躍するための英語力やグローバルリーダーに必要な汎用力を育むため、様々な教育・支援体制を組織している。 本プログラムで実施している英語教育・メンター制度・奨励金制度といった取り組みの一例と、今後の展望を紹介する。

Nurture of Creative Research Leaders in Immune System Regulation and Innovative Therapeutics

Chiba University

Beyond Expertise: Supporting Future Therapeutic Leaders

The primary focus of Chiba University's program is to "foster future leaders who promote therapeutics." To achieve this aim, our educational programs are designed to enhance a student's ability to: 1) promote therapeutics focusing on intractable immune-related diseases in a systematic manner; 2) effectively communicate in English; and 3) develop versatility in the international arena.

In this forum, we will introduce three key initiatives: 1) English programs; 2) the mentor system; and 3) the in-house grant system. The combination of these initiatives provides benefits that enable students to fully enjoy and utilize the program.

To conclude our presentation, we will share our vision for developing a new course on attitude readjustment, goal setting and leadership.

24 Sat

10:00

12:00





教育2(Education 2) 会議室H(Room H)

グローカルな健康生命科学パイオニア養成プログラム HIGO

熊本大学

HIGO プログラムの学生支援体制

本プログラムでは、「学生支援・カリキュラム WG」を設置し、プログラム生支援のため様々な取組みを検討・実施している。 マルチメンター制、On demand 型インターンシップの推奨、審査に基づく研究経費の支給・学会参加旅費支援、留学生の日本 語会話教室、セミナー等の同時通訳などである。また、一部の科目を履修する準プログラム生の制度がある。これらの取組みに ついて紹介する。

HIGO (Health life science: Interdisciplinary and Glocal Oriented) Program Kumamoto University

Unique features of the HIGO Program's student support

The HIGO (Health life science: Interdisciplinary and Glocal Oriented) Program of Kumamoto University sets up a working group specialized for HIGO Student support, which is actively operating in a pragmatic manner, such as the multiple-mentor system, on-demand type internships promotion, research grants through the screening, support of travel expenses for scientific meetings, Japanese class for foreign students, and simultaneous translation at Japanese seminars etc. The HIGO program also accepts associate students who learn part of the Program subjects. The varied supports described above will be explained.



教育3-1 (Education 3-1) 会議室C (Room C)

超成熟社会発展のサイエンス

慶應義塾大学

ダブルメジャー取得による文理融合教育

本プログラムでは、RA に文理融合した学問基盤を構築してもらうことを教育システムとして取り入れており、それが2つの 修士課程を主専攻、副専攻として修了することである。研究科間でのジョイントディグリー制度を新たに整備し、単位の一部認 定と先取りを許可することで1~1年半で副専攻修士課程を修了することを課している。2014 年度末に1期生の RA9 名全員 が副専攻修士課程を1年で無事に修了し、主専攻博士課程に戻り博士論文をまとめる活動をスタートした。

Science for Development of Super Mature Society Keio University

Foundation of Integration of Arts and Sciences with Double Major Education

Our program has employed an educational system where RAs build an academic foundation that integrates arts and sciences. Specifically, they complete two masters' programs, one as the first major and the other as the second major. The joint degree program was newly organized for our program among specified faculties of Keio University's graduate schools. With the new program, students are required to complete their second major programs in roughly 12 and 18 months with partial recognition of credits and approval of advance receipt of credits. At the end of 2014 academic year, all nine first-term students successfully completed their second master programs within one year. In the 2015 academic year, they returned to their doctoral programs in the faculties of their first majors and began the work of preparing their doctoral dissertations.



プログラムワークショップ



10:00

12:00

教育3-1 (Education 3-1) 会議室C (Room C)

環境エネルギー協創教育院

東京工業大学

異分野・産官学・国際連携協創教育によるグローバルリーダーとしての能力の涵養

異分野の協創科目と特定課題研究、リーダーシップ養成科目、インターンシップを合わせた 26 単位の履修、国際教育フォー ラムでのグループワーク、自主設定論文研究等を通じ、専門力、俯瞰力、コミュニケーション力、問題設定解決力を涵養する。 QEと修了認定において、異分野教員、指導教員、企業管理職が到達度を多面的に評価し、更なる成長を促す。

Academy for Co-creative Education of Environment and Energy Science Tokyo Institute of Technology

Fostering the ability as a global leader through interdisciplinary, industrygovernment-university and international cooperative co-creative education

Academy for co-creative education of environment and energy science aims to nurture students' specialty, multifaceted viewpoints, communication skill and self-reliant ability to extract and resolve issues through 26 credits including interdisciplinary co-creative courses, specific interdisciplinary subject research, leadership development courses and internship, group work at the international education forum and self-created thesis. In the qualifying examination and completion examination, professors in the interdisciplinary fields, academic advisor and company managers evaluate students' attainment level from the various points of view to promote further improvements.



教育3-1 (Education 3-1) 会議室C (Room C)

グリーン自然科学国際教育研究プログラム

名古屋大学

大学院教育の可視化とキャリアパス形成

当プログラムでは総勢 250 名を超える学生が参加し、切磋琢磨している。明確な修了要件が定められたなかで、参加学生は、 多様なセミナーや企画の中から履修種目を自主的に選択する。こうした活動実績の全てをデータベースに蓄積し、企業等に開示 することで、学生のキャリアパスに活用できる仕組みづくりをはじめている。

Integrative Graduate Education and Rasearch Program in Green Natural **Sciences**

Nagoya University

Visualization of graduate school education and career path support

In our program, over 250 graduate students are training each other on various subjects, to fulfill the completion requirements. The students are requested to autonomously participate in the lectures, seminars and programs, according to their future plans, and all the activities of each student are recorded in a database. We are planning to develop this database toward an on-line recruit system for excellent students.





教育3-1 (Education 3-1) 会議室C (Room C)

統合物質科学リーダー養成プログラム

東京大学

副指導教員とポイント管理

MERIT では、多様な講義と自らが仲間と行動する施策があり、プログラム修了の要件を設定している。年に 4 回の副指導教 員面談では、専門研究の進展を異分野の視点から議論してもらうことに加え、上記修了要件の進捗を確認し、コース生に早期の 履修を促している。8 月に FE を終えた第 1 期生 31 名については、学位審査に合格すれば、ほとんどのコース生が MERIT プ ログラムを修了する予定である。

Materials Education Program for the Future Leaders in Research, Industry, and Technology (MERIT)

The University of Tokyo

Double Mentorship & Achievement Evaluation

Versatile lectures and activities are designed in MERIT program so that the students can acquire many factors needed for leadership at the completion of the program. Double mentorship works so that the students can get advices not only towards doctoral thesis but also aiming at effective completion of MERIT program. Most of 31 students finishing EF last August are supposed to complete MERIT program at their approval of PhD.

教育3-1 (Education 3-1) 会議室C (Room C)



フォトンサイエンス・リーディング大学院

東京大学

ALPS の描く博士人材像と修了生の活躍について

フォトンサイエンス・リーディング大学院(ALPS)は、最先端フォトンサイエンスを軸として、分野を越えた俯瞰力と知を 活用する力を身につけ、世界を舞台として人類社会の持続的発展に貢献する博士を育成する大学院である。平成 26 年度には 25 名のコース生がコースを修了し、平成 25 年度の早期修了者を含む 26 名が、社会で活躍を始めている。本発表では ALPS の描く博士人材像と修了生の活躍について紹介する。

Advanced Leading Graduate Course for Photon Science (ALPS) The University of Tokyo

ALPS' Vision for Doctorate Personnel and the Activities of its Graduates

Advanced Leading Graduate Course for Photon Science (ALPS) is a graduate program that fosters doctors who use cutting-edge photon science as the piercing axis through several fields, have abilities to see things from wide-ranging interdisciplinary viewpoints and to apply their knowledge, and contribute to the sustainable development of human society on the global stage. In fiscal year 2014, 25 course participants completed the course, and 26 graduates, including early graduates from the fiscal year 2013 course, are now active in society. This presentation will introduce ALPS' vision for doctorate personnel and the activities of its graduates.

25 Sun



プログラムワークショップ



教育3-1 (Education 3-1) 会議室C (Room C)

生体統御ネットワーク医学教育プログラム

大阪大学

IPBS が養成しようとする人材像とその到達度

大阪大学「生体統御ネットワーク医学教育プログラム (IPBS)」では、生命科学領域においてグローバルに産学官で活躍する リーダーの輩出を目指している。そのため、前期課程でコースワークに加えて、English Communication, Presentation, Writing Skills に関する重点的な教育を行い、後期課程で Interdisciplinary Research Skills, Entrepreneurial Skills, Global Skills, Leadership Skills 習得を目指した教育を展開している。これらの Skills に関する学生の到達度も含めて議論し たい。

Interdisciplinary Program for Biomedical Sciences Osaka University

What IPBS nurtures: image and achievement

The Osaka University Interdisciplinary Program for Biomedical Sciences (IPBS) aims to nurture global leaders for the academic, industrial, and governmental sectors in the field of life sciences. To this end, the first half of the curriculum focuses on developing students' English communication, presentation, and writing skills in addition to a range of courses in the biomedical sciences. The second half of the curriculum expands students' interdisciplinary research, entrepreneurial, global, and leadership skills. In the workshop, we would like to discuss the student achievement on the above mentioned skills.



教育3-1 (Education 3-1) 会議室C (Room C)

法制度設計・国際的制度移植専門家の養成プログラム

名古屋大学

法制度・政治制度設計の専門家育成のための教育の達成度評価

「共同研究入門」IからIV(2単位・M1後期からDまで)を必修科目として開講している。履修生は共同研究の集団を形成し、与えられた課題を実践的プロジェクトへ具体化する。企画書と中間報告書の作成(I)、共同報告書の作成と国際会議での発表(II)、個人パートを含む最終報告書の作成(III)を行い、教員はその達成度を評価する。IVでは、独自の国際会議を組織し開催する。

The Program for Cross-Border Legal Institution Design

Nagoya University

Educational Program for the Experts of Legal and/or Political Institution Design

As core courses of this program, "Joint Research Workshop I, II, III and IV" are compulsory for all the students. They must submit Research Proposal and the Interim Report (I), Final Version of the Joint Report and its presentations (II), Final Report including Individual Parts (III) through group works. They must organize International Conference by themselves for the JRW IV.




教育3-1 (Education 3-1) 会議室C (Room C)

「みがかずば」の精神に基づきイノベーションを創出し続ける 理工系グローバルリーダーの育成

お茶の水女子大学

お茶大 Project Based Team Study の概要とその実績

お茶の水女子大学では、グループ学習の「Project Based Learning (PBL)」をチーム研究に深化させた「Project Based Team Study (PBTS)」を実践している。これは、企業内で行われているプロジェクト研究をモデル化したもので、背景の異なる学生からなるプロジェクトチームが、分野を超えた総合的な課題を自ら設定し、協働して解決を目指すものである。今回は、その取組みの概要とこれまでの実績を報告する。

Fostering long-term creativity and innovation with science and technology disciplines based on Ochanomizu spirit 'Migakazuba' in the next generation of global leaders

Ochanomizu University

Summary and Achievement of Project Based Team Study in Leading Program of Ochanomizu University

In Ochanomizu University's leading program, we employ the Project Based Team Study (PBTS) method that was developed from Project Based Learning (PBL) and in which students conduct team research instead of group learning. The project to be studied by the team is based on research that can serve actual businesses. Students with diverse backgrounds form teams and use their own approach and contribute to identifying and solving multidisciplinary issues, in collaboration with industry, academia and government representatives. Today, we are proud to present our achievements thus far.

教育3-2 (Education 3-2) 会議室D (Room D)



霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院

京都大学

フィールドワークを礎に、学問と実践をつなぐグローバルリーダーを育成する

霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院(PWS)では、フィールドワークを基盤として、人間のこころ・からだ・くらし・ゲノムを包括的に理解しつつ、「地球社会の調和ある共存」を目指すグローバルリーダーを育成します:(1) 絶滅危惧種保全の専門家として国際機関 NGO 等で働く人材、(2)博物館・動物園・水族館等におけるキュレーター、(3)一国 を対象としたアウトリーチ活動を担う実践者。

The Leading Graduate Program in Primatology and Wildlife Science Kyoto University

To nurture global leaders that can interconnect their academic field and handson experience, using fieldwork as its foundation

With fieldwork as the basic foundation, the Leading Graduate Program in Primatology and Wildlife Science (PWS) aims to nurture a global leader who will engage in hands-on activities to work toward "the well-being of our world." Therefore, a comprehensive understanding of the human mind, body, life and genome is vital to this establishment. The goals of the PWS program is to produce (A) Conservation specialists of international organization(s) such as the United Nations and NGO; (B) Curators of museums, zoos, or aquariums; and (C) Outreach workers that invest a great length of time in outreach activities in a specific country and society. In addition to following an academic career, PWS recommends students to become (A), (B), and/or (C).



25

プログラムワークショップ



教育3-2 (Education 3-2) 会議室D (Room D)

グリーンアジア国際戦略プログラム

九州大学

Green Asia Program の基本コンセプトと新たな文理融合

グリーンアジア国際戦略プログラムではアジア圏を露頭に顕在化する裾野の広い環境問題を解決するため、理工学に立脚しな がら有意な社会提言をするリーダーを育成することを基本理念に掲げている。深くしかし限局された自らの専門知識のみならず、 周囲分野への知嚢により肉付けされた「知の supra-structure」に加え、幅広い人文社会学智により基盤を支える「知の infrastructure」を修得させる新たな(文理に非ずして)理文融合の教育プログラムを構築する。

Advanced Graduate Program in Global Strategy for Green Asia Kyushu University

Fundamental concept of Green Asia Program helping a new plane of multidisciplinary merging science & engineering and social science & humanities

Green Asia (GA) Program aims to foster human resource (HR) who can act as a social leader posing feasible provisions and solve various environmental problems seriously taking place in places in Asian. Because the environmental problem has wide range of spatiotemporal scales in interdependent and complex manners, the expected HR has not only specialized in a limited range of knowledge, as conventional PhD programs seeking, but also broad base knowledge including the neighboring fields as well as social science, even humanities. GA program has been designed to respond this kind of social demand.

教育3-2 (Education 3-2) 会議室D (Room D)



ファイバールネッサンスを先導するグローバルリーダーの養成

信州大学

ファイバールネッサンスを先導する人材となるために求められるもの

繊維・ファイバーに関する専門知識、俯瞰力、プロジェクトマネジメント能力、新しい価値の創出能力などを有する人材の育 成を目指している。このため、プログラム独自の自己評価シートを用いて、年 2 回、学生が自ら設定した目標達成を支援してい る。同時に、年度末に、プログラムの設定した目標達成度を自ら評価し、達成度を継時的に把握できるようにしている。

Global Leader Program for Fiber Renaissance Shinshu University

Targets of Global Leader Program for Fiber Renaissance

The program aims to nurture graduates with (1) expertise related to textiles and fiber and the ability to apply it, (2) a perspective capable of connecting various problems faced by human societies with fiber technologies, (3) the ability to connect fundamental research to applied research as well as commercialization and feasibility research, (4) pioneering project management skills and (5) the capacity to create new value by acting as a global bridge to other fields and industries. An original self-evaluation form for students helps them assess how to meet the program's objectives as well as their own goals, which they review on an annual basis.





教育3-2(Education 3-2) 会議室D(Room D)

ヒューマンバイオロジー学位プログラム

筑波大学

「学生の自己成長を促進する形成的評価システム GLidD」 について

本プログラムでは、次世代のグローバルリーダーに必要な強い「人間力」を涵養するために、様々な経験型学修のプログラム を提供している。しかし、学修成果としての「人間力」を可視化・定量化することは困難である。このような「人間力」を含め、 グローバル人材に必要な能力の習得度を形成的に評価し、学生の自己成長を促進させるためのシステムとして"GLidD"を開発 し、導入した。

Ph.D.Program in Human Biology University of Tsukuba

Growth & Learning identification powered by Instructional Design "GLidD"

HBP provides various programs for experience-based learning, in order to nurture strong Human Power, which is required for next generation of global leaders. However, the acquired Human Power cannot be easily visible and quantified. HBP has developed and introduced "GLidD" as a useful tool to evaluate the students' Human Power as well as abilities required for global leaders based on explicit knowledge.

教育3-2(Education3-2) 会議室D(RoomD)



ライフイノベーションを先導するリーダー養成プログラム 東京大学

GPLLI の取り組みとその成果

GPLLIでは、自らの専門に確固たる軸足を置きながら多領域の人材を統合することのできるライフイノベーションリーダーの 養成を目指し、リーダーが習得すべき能力と見識を項目化・可視化して独自の評価体系を構築した。そしてコース生には、各項 目を明確な目標として提示し、意識的な努力を促している。また、この体系に沿ったカリキュラムを実施し、複数の教員が各コ ース生の到達度を客観的かつ継時的に測定・評価し、継時的な評価を可能とした。またコース生には、各項目を明確な目標とし て提示し、意識的な努力を促した。

Graduate Program for Leaders in Life Innovation (GPLLI) The University of Tokyo

GPLLI's approach and the results

In order to realize life innovation, it is necessary to nurture leaders who have a solid basis on their specialty and critically assume "leadership" to integrate human resources and skills from related multiple disciplines. GPLLI has established the "GPLLI Student Evaluation System", an original scoring system in which a complex set of abilities comprising "leadership" is analyzed through multiple criteria for evaluation. Our curriculum is aligned with this multi-disciplinary system against which there is a consistent and coherent, objective monitoring of the students' achievement. We deliberately feedback these evaluation points to the students as personal assessment to encourage their conscious and deliberate effort to be leaders.



プログラムワークショップ

5F

ロンファレンス センター Conference Center

0:00

12:00



教育3-2 (Education 3-2) 会議室D (Room D)

ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム

大阪大学

大阪大学ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラムにおける学生到達度評価の試み について

ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラムでは、自ら課題を設定し、グループをけん引して課題を解決できる GPI (Global Principal Investigator)の養成を目指しています。GPI として備えるべき資質を、デザインカ、コミュニケーションカ、 マネジメントカの計 25 項目として設定し、自己診断するための Web システムを提供しています。本発表では、この GPI スキ ル熟達度診断の概要と、これまでの成果を紹介します。

Humanware Innovation Program

Osaka University

A Skill Achievement Assessment System in Osaka University Humanware Innovation Program

The aim of Humanware Innovation Program is to foster GPI's (Global Principal Investigators) who can identify problems, and organize and lead group work to address the problems. We organize 25 items as design, communication and management skills, and provide a Web system to self-check the skills. This talk gives a brief introduction of the GPI system and the achievements.



教育3-2 (Education 3-2) 会議室D (Room D)

グローバル生存学大学院連携プログラム

京都大学

GSSfolio: 履修状況の自己点検・評価のためのeポートフォリオ

本 GSS プログラムでは、履修者が自己の学びを記録し、かえりみ、共有するため、ウエブ上に構築された e ポートフォリオ (GSSfolio) を運用している。GSSfolio は同時に、履修者の達成度を評価するためのツールでもあり、指導教員、副指導教員、 メンター、および他の履修者に共有される。この GSSfolio について紹介する。

Inter-Graduate School Program for Sustainable Development and Survival Societies

Kyoto University

GSSfolio: an ePortfolio for self-examination and evaluation of course achievement

GSSfolio is the web-based portfolio (ePortfolio) system allowing GSS students to record, review, and share the process of their learning within the GSS program. GSSfolio is also a part of the program's methods to assess the performance of each GSS student. Students can record and review the evidences of their learning with the GSSfolio. The portfolio is shared with their supervisor, sub-supervisors, mentors, and fellow GSS students. The GSSfolio will be introduced in the workshop.

Leading Forum 2015

教育3-2(Education 3-2) 会議室D(Room D)



グローバルリーダー教育院

東京工業大学

AGL が目指すリーダー像と社会の要請

グローバルリーダー教育院(AGL)では、養成すべき人材像を「多くの人と協調しながらビジョンを提示し、課題を解決に導 く人材」と設定し、専門教育と並行した道場教育やオフキャンパス教育でのプロジェクト遂行を通して、必要な能力養成にあた っている。その養成状況は、修了時点での到達目標を明確に定め、その達成度を定量化するスコアリングルーブリックを作成し て評価しており、これまでに2名の修了生が巣立っている。

Academy for Global Leadership

Tokyo Institute of Technology

The Image of Leaders that AGL Aims at and Social Demands

The Academy for Global Leadership (AGL) aims to foster talents who can lead the solutions of problems by showing a vision in collaboration with many people. For that purpose, students hone their abilities required to become leaders, through experiences of projects in Dojo and Off-campus programs in AGL, as well as research in his/her major field. Their achievements are evaluated by using a scoring rubric that quantifies the level of achievements of the attainment targets at graduation, which have been informed to all students. Two students have passed the graduation exam so far and started out in life in the society.



社会連携 1-1 (Cooperation with Society 1-1) 会議室 A (Room A)

数物フロンティア・リーディング大学院

東京大学

数学をコアにした社会連携のリーダー育成

数学は実社会の課題から遠いものと考えられがちであったが、抽象性故に現実の問題の解決に本質的な寄与をする可能性が注 目されている。本プログラムの産学・異分野連携の活動において、コース生が連携の経験を積むという教育効果に留まらず、社 会における喫緊の課題の解決につなげている。数学の知識・思考様式を活かし社会連携におけるリーダー輩出を目指している現 状と展望を紹介する。

Leading Graduate Course for Frontiers of Mathematical Sciences and Physics (FMSP)

The University of Tokyo

Initiatives in interdisciplinary collaborations: fostering leaders with a mathematical approach

As an abstract discipline, mathematics has often been perceived as having little relevance to real world topics. However, there are abundant examples that demonstrate mathematics is fundamental to progress in nearly every industrial setting today as well as interactions with other practical disciplines. Our program is organizing activities for collaborations with industry and various disciplines in order that the course students can gain not only experiences for collaborations but also actually solve urgent issues in the real world. In addition our program aims at fostering and nurturing leaders who have deep mathematical training working in an interdisciplinary setting.

25 Sun



プログラムワークショップ



社会連携 1-1 (Cooperation with Society 1-1) 会議室 A (Room A)

グリーン・クリーン食料生産を支える実践科学リーディング大 学院の創設 東京農工大学

グローバル社会を動かすリーダー育成のための実践的取組

全世界の食料の大部分は石油エネルギーを利用することによってつくり出されている。すなわち、人類が永続的に地球環境を 持続しながら心身共に豊かな生活を送るためには、その生命の源である「食」に関する地球規模での究極的な課題に挑戦し、食 の生産性やエネルギー依存形態を変革することが必須である。このような目標を達成するためには、農学や工学の基盤技術を深 い理解の上に、食料、環境、エネルギーの相互不可分の関係を理解し、人類生存の究極課題に熱意を持って挑戦する人材が必要 であると考え、実践的要素を重視したグローバル社会で活躍するリーダーの育成を推進している。

Creation of the Practical Science Leading Graduate School for Green and Clean Food Production

Tokyo University of Agriculture and Technology

Practicing activity for the leader upbringing towards global society

The majority of the world's food is produced through the use of petroleum energy. This clearly indicates that our finite planet has a high-density population, and food production for around seven billion people cannot possibly be achieved through natural farming alone. In other words, for humankind to have a sustainable global environment while living a life that is physically and mentally satisfying, we must face the eventual challenge of "food" on a global scale, which is the source of life, and make radical changes in our food production and energy dependency. To achieve this goal, the university has introduced practical education program and systematic instruction to help its trainees achieve the objectives.



社会連携 1-1 (Cooperation with Society 1-1) 会議室 A (Room A)

デザイン学大学院連携プログラム

京都大学

デザインによる社会システムのエンビジョンメント

技術が、場所、時、コンテキストを超えて偏在化しつつある今日、デザインされたアーティファクト(人工物)は、人々がどのように暮らし、学び、働くかを変革する根源的な作用をもたらし得る。デザイン学では、人工物そのものの望ましい有り様に 加えて、その人工物が出現した未来に人々や社会がどうあるべきかを、多様なタイムスケールでビジョンとして描く。

Collaborative Graduate Program in Design Kyoto University

Envisioning the Future through Design

As technologies become ubiquitous in terms of place, time, and context, a designed artifact (including physical, digital, and logical ones) inevitably affects how people live, learn, and work, as well as how they think, perceive, and feel. The designers of such an artifact must not only plan the artifact itself, but also envision and project how people would use, interact with, engage in, and live with the artifact in the future in a variety of time scales. A primary part of the design ought to entail cognitive, organizational, and social envisionments.

Sun

🔺 Leading Forum 2015



社会連携 1-1 (Cooperation with Society 1-1) 会議室 A (Room A)

「ウェルビーイング in アジア」実現のための女性リーダー育 成プログラム 名古屋大学

名古屋大学における女性リーダー育成の取組

今後の日本社会の活性化のためには、女性の活躍促進が最も重要な課題である。とりわけ意志決定に関わる女性リーダーの育成は、多様な価値観に立脚し、性別によらず人が輝く社会の創成にとって大きな原動力となる。多くの女性リーダーを輩出して 来たアジアに学びつつ、アジアのウェルビーイングに資する女性リーダーの育成をめざす名古屋大学の取組について述べる。

Women Leaders Program to Promote Well-being in Asia Nagoya University

Approach to cultivation of women leaders at Nagoya University

The most important challenge for vitalization of future Japanese Society is acceleration of women's active roles. Especially cultivation of women leaders who will be involved in decision-making must be an important driving force for the construction of a society that is based on diverse values, where people are lit up in despite of gender. This presentation is to introduce Nagoya University's approach to cultivation of women leaders while learning from the Asian region where many women leaders are already present.



社会連携 1-1 (Cooperation with Society 1-1) 会議室 A (Room A)

充実した健康長寿社会を築く総合医療開発リーダー育成プロ グラム 京初士学

京都大学

新しい健康・医療へ向けた医工連携の取組み

多様性の拡大、変化の加速、困難な将来予測の一方、高齢社会の世界的拡大は揺ぎ難い因子の一つである。超高齢社会に直面し、 世界有数の健康長寿国である日本には、有益な日本モデルを提示する責務が有る。医工学に基づき、医療・健康という切り口か ら新たな概念を創出し、個人の一生や社会の全体適合性を向上させる"Medical Revolution"が必要であり、可能である。

Training Program of Leaders for Integrated Medical System for Fruitful Healthy-Longevity Society

Kyoto University

Medico-Engineering Cooperation for Medical Revolution

Besides increasing diversity, accelerating social changes and invisibility of the future, we can witness a propensity of expanding aging society in the world. Japan is the first country that faces an unprecedented extremely-aged-society and, at the same time, has the longest health-life-expectancy. It should provide a good model to cope with problems of aging society and to establish a society with healthy longevity. We think it is necessary and possible to make "Medical Revolution" in which, based on medico-engineering cooperation, we create a new concept from the perspective of health care and well-being, and improve compatibility as a whole between individual-life, community, and world-wide issues.



プログラムワークショップ

コンファレンス センター Conference Center

10:00



社会連携 1-1 (Cooperation with Society 1-1) 会議室 A (Room A)

アジア非感染性疾患 (NCD) 超克プロジェクト

滋賀医科大学

アジアで増え続ける非感染性疾患(NCD)に対応できるリーダーの育成

非感染性疾患 (Non-Communicable Disease、以下 NCD) は、がん・脳卒中・心臓病などの生活習慣病の増加という形で 顕在化し、アジアにおいて深刻な健康問題となっている。今回、我々は、国内外における産学官の広い分野でグローバルリーダ ーとして活躍できる、NCD 対策の専門家を育成するための様々な取り組みについて報告する。

Reducing the Burden of Non-communicable Disease (NCD) in the Asian Pacific Region

Shiga University of Medical Science

Education of future global leaders who will play an active role in developing the measures against non-communicable disease (NCDs) in the Asian Pacific region

Non-Communicable Diseases (NCDs) constitute a core health issue in the 21st century. The prevalence of NCDs, including cancer, cerebrovascular, and cardiovascular diseases, and their associated risk factors such as diabetes, hypertension, and dyslipidemia, have become particularly serious in Asian emerging countries. The United Nations is collaborating with government officials of various countries and academic institutions recognizing solution of this issue as a mission. We would like to present various strategies to educate future global leaders who can take initiative in the development of measures against NCDs in the Asian-Pacific region.



社会連携 1-2 (Cooperation with Society 1-2) 会議室 B (Room B)

持続可能な社会を拓く決断科学大学院プログラム

九州大学

地域づくりと持続可能な社会への国際連携

持続可能な社会構築のうえでの大きな課題は環境、災害、健康、統治、人間のあり方に関係している。私たちはこれら5課題 についての学際科学を統合する超学際科学としての決断科学を軸に、問題解決型研究プロジェクトの現場でリーダー養成を進め ている。これらのプロジェクトでは地域づくりを重視し、各地の地域住民との協働を通じて、問題を実際に解決するプロセスに 貢献している。

Graduate education and research training program in decision science for a sustainable society

Kyushu University

Community design and international collaboration toward a sustainable society

To construct a sustainable society, we need to solve major social problems that are related to five key issues: environment, disaster, health, governance and human behavior. To solve those problems, we are working to develop "Decision science for a sustainable society" as a transdisciplinary science covering all five issues. By using knowledge of this transdisciplinary science, we are promoting solution-oriented projects in various local communities and training graduate students to social leaders having not only knowledge but also rich experience in various fields of problem-solving. In those projects, we are collaborating with citizen to develop better options and make better decisions for those communities and contributing to really solve problems.





社会連携 1-2 (Cooperation with Society 1-2) 会議室 B (Room B)

未来共生イノベーター博士課程プログラム

大阪大学

未来共生の課題へ挑むための実践からの学び(プラクティカル・ワーク)

未来共生プログラムでは、大学外の実践の場での学びを大切にしている。現場に出向き、知り、関わり、信頼関係を築き、課 題解決に向けた協働の提案を試み、その体験を国内外のフィールドで経年的に重ねていくことで、共生社会に求められているを 明確にしていく。

Doctoral Program for Multicultural Innovation Osaka University

Practical work to solve the challenging tasks of "Mirai Kyosei"

The RESPECT program engages in value learning through practical fieldwork off campus. Students go into the field, get to know people, take part in activities and create relationships of trust. Subsequently, they devise cooperative activities to help solve problems. With time and the gaining of practical experience, domestically and internationally, our students garner the qualifications to contribute towards establishing a "Multicultural Kyosei Society".



活力ある超高齢社会を構想し実現する人材を育成する

2060年までに世界の多くの国の高齢化率は30%を超え、日本の高齢化率は40%になる。こうした超高齢社会の活力を維持するためには、高齢者の健康自立期間を最大化し、要介護者比率を下げ、また、心身が弱っても軽度の支援を受けながら自立 的な生活を継続できる地域社会の生活環境を整備する必要がある。本プログラムでは、東京大学の29専攻1機構の総力を結集し、 高齢社会の問題を分野横断的な視野の下に熟知し、多分野の専門家チームを率いて活力ある超高齢社会を構想・実現する人材を 育成する。

Graduate Program in Gerontology: Global Leadership Initiative for an Age-Friendly Society (GLAFS)

The University of Tokyo

Fostering capable persons who will design and realize an age-friendly society

Population aging is a global phenomenon the world is facing and it has profound impact on every aspects of our life. We need high-level professionals who can envision new social systems for aged society and take the initiative in realizing these ideas in real-life settings around the world. GLAFS is a collaborative program with nine graduate schools comprising 29 departments at The University of Tokyo to foster capable persons who grasp a comprehensive knowledge on issues aging societies face, and who can lead a team of professionals from various areas and to solve complex issues that have arisen with the population aging and the increase in longevity, and to design and realize a truly age-friendly society.

25 Sun

プログラムワークショップ



社会連携 1-2 (Cooperation with Society 1-2) 会議室 B (Room B)

社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー養成プ ログラム 東京大学

文理融合で世界を先導する「知と実践のプロフェッショナル」の育成

現代社会は急激な変貌を遂げ、様々な分野で難しい課題に直面しています。問題に唯一の解はなく、その解決にはグローバル かつ文理融合的なアプローチが必要です。こうした社会の要請に応えるために私たちは、文理融合的な知識を駆使しながら、グ ローバルな視野から課題を認識し、革新的かつ現実的な解決策を構想・設計し、多様なステークホールダーと連携しつつ実行す る「知と実践のプロフェッショナル」の養成に取り組んでいます。

Global Leader Program for Social Design and Management (GSDM) The University of Tokyo

Educate and train "professionals of knowledge and practice" to lead the world with an interdisciplinary approach

Our society is in the midst of a drastic transformation, and is faced with serious challenges in various fields. Complex real-world problems do not have easy solutions and must be addressed by an interdisciplinary approach with global perspectives. To meet the needs of today's world, we place special emphasis on educating and training students to become "professionals of knowledge and practice" or, more specifically, professionals who effectively use interdisciplinary knowledge, recognize challenges from global perspectives, and design and implement innovative and actionable solutions in partnership with diverse stakeholders.



社会連携 1-2 (Cooperation with Society 1-2) 会議室 B (Room B)

サステイナビリティ学グローバルリーダー養成大学院プログ ラム 東京大学

サステイナブルな社会構築に向けた人材育成と社会連携のあり方

人材育成(教育)に社会連携の仕組みを取り入れた実例として、全く異なるアプローチを2例紹介する。ひとつは、アフリカの開発を題材とした現場演習であり、学生が国際的なキャリア展開を考えるきっかけを与えている。もうひとつは、広告代理店 との共同による社会への発信であり、企業と学術という異なる価値観のぶつかり合いを教育の基本としている。

Graduate Program in Sustainability Science - Global Leadership Initiative (GPSS-GLI)

The University of Tokyo

Human resource development through collaboration between society and university towards sustainable world

Two distinct approaches of human resource development through university-society collaboration will be introduced. One deals with African Development, and provides students with an opportunity to let them think of international career. The other is based on collaboration with a marketing company, and tries to outreach the society by pursuing a trans-disciprinary approach between academia and private sector.

25

Sun

12.00





社会連携 1-2 (Cooperation with Society 1-2) 会議室 B (Room B)

エンパワーメント情報学プログラム

筑波大学

展示を通じて社会との接点を作るエンパワーメント情報学プログラム

現代の科学技術はピアーという評価システムによって効率的に発展してきたが、一方でピアーが専門領域の殻に閉じこもり、 社会と隔絶するという問題も顕著になってきた。エンパワーメント情報学プログラムでは、展示を通じて一般社会の人々から評 価を得て、それを次のステップの研究につなげるというスタイルを、人材育成のシステムに取り入れている。そして、その活動 を日常的に行う場として、実験室とギャラリーを合体させた「エンパワースタジオ」を設立した。

Ph.D.Program in Empowerment Informatics University of Tsukuba

PhD. Program in Empowerment Informatics Interacts with Society through Exhibition

Contemporary science and technology has been greatly advancing based on peer review system. On the other hand, peer tends to withdraw into its specific area and be isolated from society. In order to overcome this problem, PhD. Program in Empowerment Informatics aims to develop systems based on evaluation from public through exhibitions. This is not only outreach activities but new style of research and development. The program has launched "Empowerment Studio" combining laboratory and gallery, where students daily practice research and demonstration.



社会連携 2 (Cooperation with Society 2) 会議室 G (Room G)

マルチディメンジョン物質理工学リーダー養成プログラム

東北大学

共同研究から長期企業インターンシップを経たシームレスキャリア移行

本プログラムでは物質理工学の立場から、製造業での材料開発を主としたキャリアパスを想定しているが、材料開発は長期間 の地道な研究を必要とすることが多く、大学との共同研究が重要となる。博士学生がこれに携わり、さらに長期インターンシッ プによって企業との密接な関係を築くことにより、大学から企業へのスムースな移行を目指している。

Interdepartmental Doctoral Degree Program for Multi-dimensional Materials Science Leaders

Tohoku University

Seamless shift of student's career through long term internship via cooperative work with company

The goal of this program is to establish the DC student's career path that is to get job with multi viewpoints in the commercial company, mainly in the field of material development, after their graduation. In this case, a cooperative study with the company is very important because the material development generally needs a long period of time. Therefore, we are targeting seamless moving of students to the company with their research work by making close mutual relationship with the company through the student's contribution to the cooperative study and a long term, typically three months, internship.

25 Sun



プログラムワークショップ



社会連携 2 (Cooperation with Society 2) 会議室 G (Room G)

システム発想型物質科学リーダー養成学位プログラム

大阪府立大学(大阪市立大学)

産業牽引型に的を絞ったリーダーの養成

大阪府立大学では、平成20年以降90社を超える企業と連携し114名の博士人材を、3か月以上の長期インターンシップ に派遣するなど、産業指向型高度研究人材の育成に注力してきた。プログラムでは、「ことづくり」の発想に基づいて深い物質 科学の素養を活かすことができ、階層融合的な研究戦略を想起できる、産業牽引型「システム発想型」物質科学リーダーの養成 に努めている。

Graduate Course for System-inspired Leaders in Material Science Osaka Prefecture University (Osaka City University)

Education program for innovative material scientists motivated to become industrial leaders

The leading program aims to train 'system-inspired leaders for material science', who can make use of deep knowledge of material science by the mind of "KOTO-ZUKURI (value creation)" and create multilevel interdisciplinary research strategies. In addition, the program specializes to train the leaders to become key persons in industries, who can link closely the advanced academic research results to the development of a new industry with proficient entrepreneurship and can construct "the link from fundamental knowledge to industrial applications", In order to achieve above objectives, our universities have built the advanced education system including long-term internship in cooperation with more than 90 industries.



社会連携 2 (Cooperation with Society 2) 会議室 G (Room G)

ソーシャル ICT グローバル・クリエイティブリーダー育成プロ グラム

東京大学

GCL 長期インターンシップの目標と実装上の課題

ソーシャル ICT グローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム(GCL)は、情報および制度・経済の横串とグローカ ルな視点で現代の社会・経済の動態を理解し、本質的な問題や可能性を発見できるリーダの育成を目指している。東京大学9研 究科17専攻の学生は、諸制約を踏まえ、自ら国内外6ヶ月のインターンシップを企画遂行し、問題意識を涵養することが必須 要件である。

Graduate Program for Social ICT Global Creative Leaders (GCL) The University of Tokyo

Goals and Challenges of GCL Long-term Internship

Social ICT Global Creative Leaders program (GCL) throws up leaders who have the ability and skills to federate informatics, social systems, and economics, understand modern social systems and economic systems' trends at the local level couched in a global perspective, and discover fundamental problems and possibilities. Considering a variety of restrictions, GCL students from nine graduate schools and seventeen departments from The University of Tokyo are required to plan and pursue by themselves long-term domestic and overseas internships up to 6 months to discover social issues.

25



Leading Forum 2015



社会連携 2 (Cooperation with Society 2) 会議室 G (Room G)

超大規模脳情報を高度に技術するブレイン情報アーキテクト の育成

豊橋技術科学大学

やはり末は博士か?

"末は博士か大臣か"、もはや死語に近いかもしれない。ここで言うかつての博士は浮世離れした学者のイメージであろう。現 代の博士は、我々が直面する様々な現実の課題に、深い学識を基礎に果敢に挑戦するリーダーとして活躍することが求められて いる。現実との接点を提供しキャリアを展望する場としてのインターンシップについて、長年企業研究所に勤務して学生を受け 入れ、現在は送り出す側となった経験を踏まえて議論する。

Innovative program for training brain-science-information-architects by analysis of massive quantities of highly technical information about the brain

Toyohashi University of Technology

Is still getting Ph. D. the goal of R&D career path?

There is an almost obsolete phrase "be sure to become a doctor or a minister" in Japan. We have so far imagined the doctor in this phrase is a scholar or a scientist working all day in a laboratory. However, unlike the past, "doctors" are now strongly desired to challenge to solve many global and current issues such as energy, food, and environment problems etc. Experiencing internship for doctoral students should be effective in facing such real-world issues and exploring their career paths. I will discuss the significance of the internship based on my experiences working both in industrial laboratories and now in academia.



グローバル・リソース・マネジメント

同志社大学

GRMのキャリア支援戦略-インターンシップを中心として

本報告では、同志社大学大学院博士課程教育リーディングプログラムグローバル・リソース・マネジメントプログラムにおけ る学生のキャリア支援戦略について、インターンシップを通じて来年度の就職内定を得た本プログラム履修生、とりわけ大手電 機メーカーに就職内定を得た文系博士学生のケースを中心に紹介する。

Advanced Doctoral Program in Global Resource Management Doshisha University

Career Support for students by Doshisha University's Global Resource Management (GRM) Program: Focusing on internship

The contents of Career Support for students by Doshisha University's Global Resource Management (GRM) Program will be introduced at this presentation. Special attention will be paid to the GRM students' internship activities which subsequently led to informal job offers before graduation. In so doing, the case where a doctoral student in the field of social science received the offer from a major electronics company will be highlighted.



山形大学

プログラムワークショップ



社会連携 2 (Cooperation with Society 2) 会議室 G (Room G)

フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院 山形大学

有機材料システム国際研究拠点を活用した人材育成

山形大学は有機材料システム国際研究拠点にて、原料から製品までの国内外の企業・機関を垂直連携させ、基礎から産業化ま で推進する国際的な共同研究を推進している。この国際共同研究を進展させるため、フレックス大学院コース生がグローバル企 業や研究機関等でのインターンシップに参画するなどで、社会が真に求めるグローバルに活躍できる博士人材を育成する取り組 みを紹介する。

Innovative Flex Course for Frontier Organic Material Systems (iFront) Yamagata University

Producing tomorrow's leading engineers utilizing unique international base for organic material systems

Yamagata University's international research base for organic material systems has been driving its international joint research effort by spearheading "vertical collaboration." It encompasses basic to commercialization research at the international level with a focus on inter-industrial partnerships ranging from raw material producers to final producers. We present our internship program, where iFront students play a dynamic role in advancing the international work with partner companies and institutions based in Japan and other countries. The approach provides students unique opportunities to develop and strengthen qualities sought for in engineering doctors in our globalizing society.

社会連携 2 (Cooperation with Society 2) 会議室 G (Room G)



フロンティア宇宙開拓リーダー養成プログラム

名古屋大学

原則全員インターシップ経験

名古屋大学「フロンティア宇宙開拓リーダ養成プログラム」は、宇宙利用を拡大する国際的リーダを育成する観点から、産学 官連携に重点を置き、企業インターンシップ参加を全員に強く推奨している。当初、特に理論系の学生には、インターンに対し て躊躇が見られたが、実績が広まるにつれ、次第に自信に変わりつつある。現状、最終学年該当学生の7割が、企業インターン を完了しており、企業側の評価も申し分ない。

Leadership Development Program for Space Exploration and Research Nagoya University

All students heading for Corporate Internships

In "Leadership Development Program for Space Exploration and Research" of NAGOYA University, industry-academia-government collaboration is emphasized and Internship in industries is strongly promoted to all participating students, in consideration of its purpose to educate global leaders to expand utilization of Space. Some students, in particular theory students, initially felt hesitation for corporate internships, but it has been changing to self-confidence after hands-on experience by many students. Now, 70% of D3 students completed corporate internship, and were evaluated highly by companies.

Leading Forum 2015



社会連携 2 (Cooperation with Society 2) 会議室 G (Room G)

One Health に貢献する獣医科学グローバルリーダー育成プ ログラム

北海道大学

グローバル人材の育成を推進する海外インターンシップ - 国際機関との実質的な連携-

我々は、世界保健機関、国際連合食糧農業機関、国際獣疫事務局等、感染症対策に関わる国際機関へのインターンシップを進めている。これら機関から専門家を招聘して活動内容の講義を受け、時には数日間の職場訪問によりさらに理解を深め、その後 学生を1~2ヶ月間派遣する。活発な人的交流を通じて連携を強化し、双方に有意義な活動を進めている。

Fostering Global Leaders in Veterinary Science for Contributing to One Health

Hokkaido University

Internships abroad for fostering global human resources -cooperation with international organizations-

Our program promotes the internship activity at international organizations involved in the control of infectious diseases, such as WHO, FAO, OIE and so on. We invite experts from those organizations to give us a lecture on their missions and activities, and in some instance, we send our students to those organizations for short period to deepen their understanding on the activities of those organizations. After then we send our students as intern for 1 to 2 months. We make an effort to accomplish the internship activity meaningful and fruitful for both parties by strengthening substantial cooperation with those organizations through active personal exchanges and sharing information.





京都大学大学院思修館

京都大学

海外武者修行と海外インターンシップ

思修館では、高度な専門性とともに実践力を養うため、4年次の1年間を海外武者修行と称して、学生が計画するフィールド ワーク(国際的な組織におけるインターンシップなど)を実施している。2年次には1か月の海外インターンシップを国際協力 機構(JICA)及びバングラデシュ農村開発公社(BRDB)との連携で実施している。これらはキャリア形成に大きな役割 を果たすと考えている。

Graduate School of Advanced Leadership Studies, Kyoto University Kyoto University

Overseas Knight-Errantry and Overseas Internship

In order to cultivate practical ability as well as deep expertise, students of the Sishukan Program, in thier 4th grade, are required to plan and undertake fieldwork or an internship for a year in international organizations, which we call "Overseas Knight-Errantry." During their 2nd grade, every student would have experienced a one-month overseas internship in a cooperative project with the Japan International Cooperation Agency (JICA) and the Bangladesh Rural Development Board (BRDB). We expect these activities to be beneficial for students in paving their career paths.

25

プログラムワークショップ





社会連携 2 (Cooperation with Society 2) 会議室 G (Room G)

グローバル環境システムリーダープログラム

慶應義塾大学

GESL の三本柱:(1)国際産・学・NPO連携研究指導体制、(2)国際トレーニング制度、 (3)遠隔コラボレーションシステムの実現と展開

本プログラムにおける三本柱を中核的取組として位置づけ、海外連携・提携機関との双方向の交流(学生の海外派遣、留学生 の受け入れ)により、人材間および組織間の信頼醸成、人材交流のグローバルネットワーク化、(1)国際機関および(2)企業へ のキャリアパスの形成を推進している。

Global Environmental System Leaders Program

Keio University

3 pillars of GESL: (1) International Academia-Industry-NPO Collaborative Advisory Group, (2) International Training System and (3) Remote Collaboration System

GESL aims at developing Global Environmental Systems and Leaders with the technology and knowledge in the interdisciplinary field integrating scientific and social aspects to realize sustainable improvement and recovery of the global environment. GESL promotes the principals and methodologies of 3 pillars through tightly collaborative research and education with international partnering institutions for confidence-building and cooperation between institutions and students, and creates promising career paths to (1) International Organizations and (2) international corporations with global-networking.

社会連携 2 (Cooperation with Society 2) 会議室 G (Room G)

インタラクティブ物質科学・カデットプログラム



大阪大学

学生の目線がかわった インターンシップの意味

当プログラムでは、博士後期課程に国内企業及び海外研究機関での各々3ヶ月間のインターンシップを必修科目として課して いる。特に企業でのインターンシップを経験した学生は、自らの能力の発揮場所として企業にも新たな可能性を見出すなど、実 施前後で考え方が大きく変化した。さらに、研究を通した社会への貢献に高い意識を持つようになった。当日は幾つかの事例を 報告する。

Interactive Materials Science Cadet Program Osaka University

Meaning of internships - it develops student perspectives

In Cadet Program, internships at domestic enterprise and overseas research institutes (three months for each) are compulsory subjects. The experiences in the outside of campus are changing their mindset or viewpoint about their careers. Especially, students who were trained in private companies changed dramatically before and after their internships. They found that there were many possibilities to demonstrate their talents in enterprises. In addition, they began to have a strong awareness of contributing to society through the scientific research. We will introduce several case-studies on that day.

Leading Forum 2015

日時:2015年10月24日(土)13:00-16:45 10月25日(日)10:00-12:00,13:15-15:30

会 場:5階コンファレンスセンター 会議室 A+B/C+D/E/F/G+H、1階イベントホール

テーマ:教育プログラムとアウトカムズ

1. 開催趣旨:

博士課程教育リーディングプログラム学生が、これまで受講・経験した教育プログラム(単位 化されている講義等と単位化されていないイベントの双方を含む)により、どのような力が身に つき、何をどこまで出来るようになったか(アウトカムズ)を示す。また、この結果を基にして、 自らの博士論文研究とのバランスに十分配慮しつつ、博士取得者に求められる力を身につけるた めのより一層効果的な、高い意欲を持って参加できる新たな教育プログラムを考察する。

これにより、各大学で実施されている教育プログラムを学生同士が紹介し合うことで学生間の 情報共有や交流に結びつける。学外協力者(産業界や官界などから)の参加により、リーディン グプログラムで実施されている教育プログラムを社会に周知し、学生がどのような力を身につけ ているかの理解促進を図る。

2. 課題テーマ:

- (1) リーダーシップ教育(日本語)
 将来のリーダーとなるためにこれまでに受けた教育内容と、これまでの成果に関して相互に報告して議論する。
- (2) 異分野横断や交流(英語) 文理横断や共通理念を共有して異分野交流を促進する仕組みと、これまでの成果に関して相互 に報告して議論する。
- (3) グローバル化や国際化(英語) グローバル化や国際化を促進する仕組みと、これまでの成果に関して相互に報告して議論する。
- (4) 産業界や公的機関などとの連携(日本語) 産業界や公的機関などとの連携を促進する仕組みと、これまでの成果に関して相互に報告して 議論する。
- (5)実社会課題に基づくプロジェクトワーク(日本語) 超高齢化社会や持続可能社会などの実社会における課題を解決する仕組みと、これまでの成果 に関して相互に報告して議論する。

3. 実施方法:

全国 62 プログラムから、各テーマにつき学生 1 名が参加(各プログラム学生 5 名)する。 若手教員(講師、助教、PD)1名、学外協力者(産業界・官界・国際機関・NPO法人など) 1 名にも参加頂く。この結果、学生:310名、若手教員:62名、学外協力者:62名の総勢 434名の参加者を予定する。

学生は、各テーマに沿った自分が経験した教育プログラムを紹介する PPT ファイル 1 枚を準備する。当日はそのコピーを A4 版で 3 部用意する。

10月24日(土)13時~16時45分 学生の発表と翌日の作業メンバーの選抜
 会場:5階コンファレンスセンター
 参加者は、テーマごとに5つの部屋に分かれる。若手教員、学外協力者も均等に5つの部屋

Student Forum 学生フォーラム

25 Sun

24

Sat

に分かれる。

各部屋に統括ファシリテータ(東大プログラムの若手教員)1名を配置し、各部屋(各テーマ) に10のテーブルを用意し、学生(6~7名)、若手教員、学外協力者各1~2名からなる10 グループに分かれる。

グループごとに、学生から PPT を用いて受講経験を説明(2分説明,2分質疑×6~7名): 合計 30分、その後 20分間にわたり、どのような力が身についたか、その程度はどのくらいか、 より良い教育プログラムを全員で議論し、結果を模造紙に書き込む(PPT コピーの貼り付けも可)。 各部屋の統括ファシリテータが 10 件の中から3件を選抜して、模造紙の内容を報告させる(各 3分×3)。1 ラウンド約 60分。

メンバーを変更して、3 ラウンドを実施する。全必要時間:180分

統括ファシリテータが選抜した合計 9 枚の模造紙を全員で回覧し、優れたアイディアにポスト イット貼り付け(各1枚)による投票を行い、9アイディアから上位3アイディアを選抜する(20 分)。

これら3アイディアに関わった学生(18~20名)、若手教員(3名)を選抜する。同時に、 学外協力者から、新教育プログラムに対してコメントするメンバー6名(約半数)を選抜する: 20分。

•10月25日(日) 10時~12時 発表準備

会場:1階イベントホール

テーマごとに、3アイディアに関わった学生(18~20名)、若手教員(3名)が、模造紙に 書き込まれた結果を、発表用 PPT に落とし込む。学生が経験した PPT も適時挿入する。午後 の発表メンバー 2~5名を決める。

その他学生は、このプロセスを見学、または、プログラムワークショップかスタッフセミナーに参加する。

アイディアを評価する学外協力者メンバー 6 名は、学生の議論を横目に、コメント作成(PPT が望ましい)する。適時,若手教員はこれに協力する。学生発表 PPT との一体化も可能とする。 各部屋の統括ファシリテータは資料まとめの進捗を管理する。

•13時15分~15時30分 発表

会場:1階イベントホール

各5テーマについて学生から議論の結果を 10 分発表する。その後、学外協力者から、学生が 経験したプログラムと新たなプログラムに対するコメントをいただく。議論のプロセスに関する コメントも歓迎する:5分(PPTの使用も可)。会場からの質疑5分を設ける。合計:(20分 ×5件=100分)

その後,時間があれば総合討論(会場からの意見をいただく):15分。 作成した PPT は後日、参加者全員に配布する。

4. 若手教員、学外協力者と統括ファシリテータの役割

各プログラムからの若手教員は、博士課程カリキュラム全体とリーディングプログラムとの整 合性(博士論文研究とどのように両立させるかなど)や、リーディングの学生が学外者に期待さ れている点などを配慮した上で、グループ内における議論の円滑化を促すとともに、タイムキー プなどを行って頂く。

学外協力者は、産業界からの期待などの観点からグループ内での学生の議論に加わり、発表者 を選ぶ投票権も持つ。また、発表の際には学生に対するコメントや質疑応答を行って頂く。

統括ファシリテータ(東大プログラムの若手教員)は、テーマ毎の進行管理、議論の円滑化を 促して頂く。

24

Date and Time: October 24th (Saturday) 13:00 - 16:45 25th (Sunday) 10:00 - 12:00, 13:15 - 15:30

Meeting Place: Room A+B/C+D/E/F/G+H 5F Conference Center and 1F Event Hall

Theme: Educational Program and Outcomes

1. Outline of the Student Forum

This session focuses on the "Outcomes of the Program"; that is to say, what kind of real competencies the students have acquired in your educational program. Since the Program is evolving, it is hoped that these results will encourage a new and even more effective educational program in which students are highly motivated to acquire the competencies needed in doctoral level education. While the Student Forum primarily aims at sharing information and encouraging networking among students, it will naturally facilitate broader societal understanding through public awareness of the Program.

2. Session themes

(1) Leadership education

Share the progress and achievements of each program regarding "leadership education", and discuss the competencies necessary for becoming future global leaders. Session held in Japanese.

(2) Interdisciplinary education

Share the progress and achievements of each program regarding "interdisciplinary education", and discuss how to promote interdisciplinary education. Session held in English.

(3) Globalization/internationalization

Share the progress and achievements of each program regarding "globalization/ internationalization", and discuss how to promote globalization and internationalization in graduate school education. Session held in English.

(4) Partnership with public and private sectors

Share the progress and achievements of each program regarding "partnership with public and private sector", and discuss how to promote the partnership with public and private sectors in graduate school education. Session held in Japanese.

(5) Project works addressing social problems

Share the progress and achievements of each program regarding "Project works addressing social problems", and discuss how to confront social problems such as super-aged society and social sustainability in graduate school education. Session held in Japanese.

3. Implementation method

Five students in all 62 programs are to participate in the five themes (participation of five students from every program). One young faculty (lecturer, research associate, or postdoc) and one adjunct member from outside the respective universities (industry and government sectors, international organizations, NPOs, etc.) are also requested to participate in the student forum. The total number of the participants is then expected to be some 434 persons composed of 310 students, 62 young faculty and 62 adjunct members.

In advance, every student must prepare one PPT file that introduces his or her experiences in the educational program along the five themes. Every student must also bring three A4 hard copies of the PPT(PowerPoint) file on the forum day.

Student Forum 学生フォーラム



October 24th (Saturday) 13:00 - 16:45 5F Conference Center

Student reports and selection of next day working members

The participants are divided into the five rooms related to the five respective themes. The young faculty and adjunct members are also evenly distributed into the five rooms.

One general facilitator (young faculty from the leading program of Univ. Tokyo) and 10 tables are prepared in the each room. The persons in the each room are divided into 10 groups each composed of $6\sim7$ students, $1\sim2$ young faculty, and $1\sim2$ adjunct members.

In the each group, the students will explain the competencies achieved in their educational programs using a PPT hard copy (2 min talk and 2 min discussion $\times 6 \sim$ 7 persons: \sim 30 min in total). Students will discuss ideas for developing more effective educational programs for doctoral candidates, and compile these ideas on a large-size paper (pasting the PPT hard copy is also acceptable) for about 20 minutes.

The general facilitator will select 3 ideas from among the 10 and have the students explain the ideas on the large-size paper to the participants (3 min \times 3 ideas \sim 10 min). It will take about 60 min to finish one round.

The above three rounds will be conducted by changing the group members, which will likely take about 180 min in total.

The 9 ideas on the large-size papers are selected by the general facilitator and circulated to all members, and 3 excellent ideas will be selected from the 9 ideas by member voting. This should take about 20 min.

October 25th (Sunday) 1F Event Hall 10:00 - 12:00: Preparation for presentations

For each theme, $18 \sim 20$ students and 3 young faculty responsible for the selected three ideas will summarize the contents written on the large-size paper into a PPT file for presentation. Other contents contained in the PPT files used in the presentations on October 24th may be added into the PPT file accordingly. The 2-5 speakers will be selected for presenting the ideas in the afternoon.

Students not involved in this process may observe as audience, or participate in either "Program Workshop" or "Staff Seminar" in other rooms.

The 6 adjunct members will evaluate the ideas and discussion, and summarize comments into a PPT file. Young faculty will help them accordingly as needed. The comments may be integrated into presentation files.

The 5 general facilitators will organize these processes.

13:15-15:30: Presentations in the Hall

For each theme, 2-5 selected students will report on the summary of discussions within 10 min. Then, the adjunct member will provide comments on what students have experienced from their current program within 5 min. Comments on the discussion during the Student Forum are welcomed. A PPT file may be used for presentation. After that, the floor will be open to the audience for questions for 5 minutes. In total, 20 min for the 5 themes will take 100 min. After these presentations, time allowing, 15 min shall be allotted for general discussion and comments from the audience. The PPT files used in the presentations will be distributed to all participants after the forum.

4. The roles of young faculties, adjunct members and general facilitators

Young faculty from each program are timekeepers, and promote group discussions. Adjunct members will participate in group discussions, and will also join in selecting good presentations. During the presentations on the 25th, adjunct members will give comments and engage students in discussion.

General facilitators (young faculty selected from the leading programs at The University of Tokyo) will organize the schedule, and promote group discussions.

24

Sat

Leading Forum 2015

Sun

日 時:2015年10月25日(日) 時 間:10:00-12:00 会 場:ベルサール新宿グランド5階コンファレンスセンター 会議室 I/K/M テーマ:プログラム運営のための基礎知識

大学院振興施策、産学官連携施策、教育研究の国際化、留学支援、博士人材の現況、リサ ーチ・アドミニストレーターなど、リーディングプログラムに関わる政策、学務、プロジ ェクトマネジメントに関する知識を深め、本プログラムの背景や趣旨を再確認・共有します。 これにより、より質の高いプログラムを推進し、今後、この取組を学内外に展開する基盤 となることを期待します。

Dates : Sunday, October 25, 2015 Time : 10 : 00 - 12 : 00 Meeting Place : Bellesalle Shinjuku Grand 5F Conference Center Room I/K/M Theme : General Knowledge for Program Management

The staff seminar is designed to provide Program staff with knowledge about government policy, academic affairs and project management, to ensure the consistent and coherent delivery of the Program. Topics include policies for the promotion of graduate education and industry-academiagovernment collaboration, globalization of education and research, supporting program for studies overseas, career status of Ph.D. holders, and university research administrators (URA). Quality improvements in program delivery will naturally strengthen the foundation to expand this initiative to other departments and universities currently outside of the Program.

Staff Seminar

スタッフセミナー

25 Sun





菊池 久美子:文部科学省高等教育局大学振興課大学改革推進室

政策(1) 未来を牽引する大学院教育改革について

本年9月、中央教育審議会大学分科会において、今後の大学院教育の改革の方向 性を示した「未来を牽引する大学院教育改革-社会と協働した高度な「知のプロフ ェッショナル」の育成-」が取りまとめられました。

本セミナーでは、この審議まとめを踏まえ、リーディングプログラムでしっかり と取り組んでいただきたい点や大学院教育全体に取組を展開いただきたい点を中心 に、行政の担当者としてお話するとともに、皆様からの率直な意見をお聞きする場 としたいと思います。

Kumiko Kikuchi : Office for University Reform, University Promotion Division, Higher Education Bureau, Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology, Japan

Government Policy (1) Graduate Education Reforms Leading the Future

In this September, the Subdivision of Universities under the Central Council for Education had submitted a report titled "Graduate Education Reforms Leading the Future: Advanced "Knowledge Professionals" Development through Collaborations with the Society," which offers the future direction in graduate education reforms.

On the basis of the report, I will speak of the efforts and initiatives to be made in Program for Leading Graduate Schools as well as those to be incorporated into all the graduate programs on behalf of MEXT. Your active participation and honest opinions are highly welcome.



宮本 岩男:経済産業省大学連携推進室

政策(2) 産学連携教育の更なる深化に向けて

産業界のニーズと大学等教育機関における教育内容にミスマッチがあるとの指摘 がなされて久しい。また、特に博士課程修了者など最高学歴取得者になればなるほ ど産業界での就職が難しくなるという実態があり、産業ニーズを踏まえた教育がま すます求められるようになってきている。今回は、産業界の教育ニーズを定量化す るための産業界の技術者約1万人を対象とした調査の結果等を紹介しつつ、ミスマ ッチの実態について論じる。

Iwao Miyamoto : Industry-University Collaboration Office, Ministry of Economy, Trade and Industry, Japan

Government Policy (2) Creating a better understanding between the University and the Industry for raising the level of education

The Industries in Japan are showing unsatisfaction against the educational service provided to the students of which the Industries hire as freshmen. By showing the outcome of a survey using approx 10,000 Industry employees, I would like to discuss quantitatively about the gap between the Industry needs and the actual education provided to students.

Leading Forum 2015



町田 大輔:日本学生支援機構グローバル人材育成本部

学務(1)トビタテ!留学 JAPAN 日本代表プログラムについて~背景、ねらい、進捗状況~ トビタテ!留学 JAPAN 日本代表プログラムは、日本の高等教育または後期中 等教育機関に在籍する学生・生徒の海外留学を支援する官民協働事業である。その 目的は将来の日本のリーダーを育成することであり、2013年に閣議決定された『日 本再興戦略』において、2020年までに海外留学する若者の数を倍増させる目標と ともに提案された。スタッフセミナーでは、このプログラムの政策的背景、主な特徴、 およびこれまでの成果について説明する。

Daisuke Machida : Global Human Resource Development Headquarters, Japan Student Services Organization Academic Affairs (1) TOBITATE Young Ambassador Program – Background, Goals and Progress

The TOBITATE Young Ambassador Program is a joint initiative of the public and private sectors that support Japanese students enrolled in higher and upper secondary education institutions in Japan who wish to study abroad with some focus on practical training. This scholarship program is intended to cultivate future leaders of the global/local community and was proposed at the core of the government campaign to double the number of Japanese students studying abroad by 2020 in the national growth strategy document (Japan Revitalization Strategy) decided on by the Cabinet in 2013. At the staff seminar, I will outline the policy background, prominent features, and initial outcome of this program.



長尾 眞文:国連大学サステイナビリティ高等研究所

学務(2)教育研究の国際連携:アフリカでの調査・演習実施事例の紹介 グローバル化する社会で活躍する専門的人材を育成するには、国際的な教育研究 を体験する機会の提供が不可欠である。このスタッフセミナーでは、サステイナビ リティ学の分野で東大と国連大学がアフリカの有力大学グループとの連携により実 施している、現地グループ演習と修士・博士課程の個別調査支援プログラムを2事 例として紹介し、そのようなプログラムの開設、実施、人材育成効果の発現につい て参加者間の意見交換を図る。

Masafumi Nagao : Institute for the Advanced Study of Sustainability United Nations University

Academic Affairs (2) International cooperation for graduate education and research: Field research and exercise in Africa

In a globalizing society it is essential for any institutional training of professional talents to incorporate international field learning opportunities as a formal part of the program for graduate education and research. The present staff seminar presents two programs of the University of Tokyo and the United Nations University involving, respectively, a group field exercise and individual dissertation research, which are both organized in cooperation with a group of leading African universities. After hearing these case presentations, the participants will engage in group discussions on how such programs may be set up and implemented and how the program outcome may be ascertained.



Staff Seminar

スタッフセミナー

Leading Forum 2015

25 Sun



松澤 孝明:文部科学省科学技術・学術政策研究所 第1調査研究グループ

プロジェクトマネジメント (1) 科学技術人材育成をめぐる現状と課題:科学技術・学 術政策研究所の挑戦

我が国における科学技術・イノベーションにおいて主要な役割が期待されている 高度専門人材の育成における諸課題を理解するため、科学技術・学術政策研究所で は、博士人材の現状やキャリアパスに関する調査研究を実施しています。この発 表では、ポスドクや教員の調査及び博士号を有する人材の追跡調査 (JD-Pro)の 結果などをご紹介し、また、当研究所で構築を進めている博士人材データベース (JGRAD)の構築の現状についてもご説明します。

Takaaki Matsuzawa: 1st Policy-Oriented Research Group, NISTEP, MEXT

Project Management (1) Current Status and Problems on fostering Human Resources of Science and Technology (HRST)

NISTEP has been performing the research about the current status and career-path of doctoral graduates, as a measure for understanding problems in fostering highly professional human resources who are expected to play the main role in science, technology and innovation in Japan. This presentation includes recent results of researches on post-doctoral fellows and faculty members, and the profiling research for doctoral human resource (JD-Pro). It includes current status constructing the system called Japan Graduates Database (JGRAD) as well.



池田 雅夫:大阪大学大型教育研究プロジェクト支援室

プロジェクトマネジメント (2) 大学における建設的なプロジェクト運営のための スタッフの役割

外部資金によるプロジェクトの多くは、主にそのプロジェクトのために雇用され たスタッフによって運営がなされている。雇用は特任教員や特任事務職員という名 称でなされる場合が多いが、その業務は大学の通常の教育研究に携わる教員や事務 職員の業務内容と同じではない。この点を明確にして、第3の職であるという意識 を持つことによって、スタッフ全員がプロジェクトの目標に向けて、建設的に仕事 をすることができることを述べる。

Masao Ikeda : Support Office for Large Scale Education and Research Projects, Osaka University

Project Management (2) The Role of Temporal Staffs for Constructive Management of Projects

Almost all projects supported by external funds are operated mainly by staffs temporally employed for the projects. Although their titles are something like faculty members or administrative staffs, their jobs are not the same as those of permanent staffs. In this talk, it is emphasized that by making the differences clear and recognizing their role as a third occupation, all the staffs can constructively work together for the objective of the project. パネルディスカッション

🔻 Leading Forum 2015

Sun

日 時:2015 年 10 月 25 日 (日) 時 間:15:30-17:00 会 場:ベルサール新宿グランド1階イベントホール テーマ:日本の大学院教育を考える

世界の発展に寄与し、国際競争の中で我が国の持続的成長に貢献していくため、産業や 社会構造の変化を見据えて、今後の学術の進展やイノベーション創出に対応した大学院強 化改革を議論します。博士課程教育リーディングプログラムの成果を生かして、今後、社 会に貢献し、国際的に競争できる卓越した博士人材をどのように育成するか、そのシステ ムをいかに構築するかについて、会場の皆様と共に考えます。

Dates : Sunday, October 25, 2015 Time : 15 : 30 - 17 : 00 Meeting Place : Bellesalle Shinjuku Grand 1F Event Hall Theme : Progress and Development in Japanese Ph.D. Education

The panel discussion will focus on graduate school enhancement and reform amid on-going and transformational changes in commerce and society. As such, the focus will consider future academic demands and address the heightened expectations for innovation, so that graduates will be empowered to contribute to future development, and enhance the nation's sustainable growth in a global context. The session will be interactive with ideas being exchanged with the floor as to how the Program can best be leveraged to develop globally competitive Ph.D. talent, and within a new and dynamic educational system.

Panel Discussion

パネルディスカッション

Panelist

パネリスト

25 Sun

15:30



国立研究開発法人 理化学研究所 理事 有信 睦弘 Executive Director, RIKEN Mutsuhiro Arinobu



東京大学 総長 五神 真 President, The University of Tokyo Makoto Gonokami



カリフォルニア大学バークレー 教授 富塚 誠義 Professor, University of California, Berkeley Masayoshi Tomizuka 1976 年 東京大学大学院工学系研究科博士課程修了

1976 年 東京芝浦電気株式会社(現 ㈱東芝)入社。2003 年 同 社執行役員常務研究開発センター所長。2006 年 同社執行役常 務経営監査部長。2008 年 同社顧問。

2009 年 横浜国立大学理事。2010 年から東京大学監事。2014 年から理化学研究所理事

2014 Executive Director, RIKEN 2010 Comptroller, The University of Tokyo

2009 Executive Director, Yokohama National University 2008 Adviser, Toshiba Corporation 2006 Corporate Vice President, General Manager, Corporate Audit Division 2003 Corporate Vice President, Director of Research and Development Center 1976 Tokyo Shibaura Electric Company (Toshiba Corporation)

1976 Graduate school of Engineering, The University of Tokyo (Doctor of Engineering)

東京大学理学部物理学科卒業。大学院理学系研究科物理学専門課程 修士課程、博士課程を経て、1983年東京大学理学部助手。大学 院工学系研究科教授。工学系研究科附属光量子科学研究センター教 授。理学系研究科教授。大学院理学系研究科長・理学部長等を歴任 後、2015年より東京大学総長。専門は光量子物理学。

Professor Makoto Gonokami became the President of the University of Tokyo on 2015. He obtained his PhD from the University of Tokyo in 1985 and became a full professor in 1998. He was previously the Dean of the School of Science, including the positions of Vice President, Director of Photon Science Center and the Director of Institute for Photon Science and Technology. His research interests include photon science.

1974 年、Ph.D.(MIT)取得。同年、カリフォルニア大学バー クレー校助教授。現在、同校 Cheryl and John Neerhout, Jr., Distinguished Professor。研究分野は最適制御、適応制御、ディ ジタル制御、モーション制御等。2002 年から 2004 年まで米国 国立科学財団のプログラムディレクター。ASME、IEEE、SME および IFAC のフェロー。

Masayoshi Tomizuka obtained his PhD from MIT in 1974. He joined the University of California, Berkeley in 1974, and is currently Cheryl and John Neerhout, Jr. Distinguished Professor. His research interests include adaptive control, digital control, and motion control. He served as a program director of NSF from 2002 to 2004. He is a fellow of ASME, IEEE, SME and IFAC.

Leading Forum 2015

Sun

15:30



株式会社 旭リサーチセンター 常任顧問 **永里 善彦** Standing Advisor, Asahi Research Center Co., Ltd.

Yoshihiko Nagasato

1965年 旭化成入社。2004年 ㈱旭リサーチセンター社長、 2015年常任顧問。文科省 中教審・大学分科会等委員。経団連 未 来産業・技術委員会産学官連携推進部会長。京大 大学院エネルギー 科学研究科後期博士課程修了(エネルギー科学博士)

1965-87 Asahi Kasei Corp., 1987-present Asahi Research Center Co.,Ltd(ARC), 2004-12 President,ARC, 2012-15 Counselor, ARC,2015 Standing Advisor,ARC, 2011-present Committee Member, Central Council for Education, Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology,2011-present Chairman, Sub-committee on Industry-Academia- Government Cooperation, Committee on New Industry and Technology, Keidanren (Ph.D., Energy Science, Graduate School of Energy Science, Kyoto University)

ジュネーブ大学教育学及び経済学博士号取得、同学部助教授を経 て 2002 年東北大学大学院工学研究科教授。2010 年に経済協力 開発機構(OECD)科学技術産業局次長就任、2013 年より現職。 専門は科学技術政策、高等教育研究、イノベーション政策。

Dr. Yuko Harayama holds a Ph.D. in education Sciences and a Ph.D. in economics both from the University of Geneva. Prior to joining the CSTI, she spent two years at the OECD as the Deputy-Director of the Directorate for Science, Technology and Industry, and ten years at the Graduate School of Engineering of Tohoku University as a professor of Science and Technology Policy. Her research interests include science and technology policy, higher education system and innovation policy.



内閣府 総合科学技術・イノベーション会議 議員 原山 優子

Executive Member, Council for Science, Technology and Innovation, Cabinet Office, Japan Yuko Harayama

Moderator





東京大学教授/慶應義塾大学教授/文部科学大臣 補佐官 鈴木 實

Professor, The University of Tokyo; Professor, Keio University; MEXT Special Advisor **Hiroshi Kan Suzuki** 通商産業省に入省。慶應義塾大学助教授を経て、2001年参議院 議員初当選、文部科学副大臣(2 期)。2012年一般社団法人社会 創発塾設立。

2014年2月東京大学公共政策大学院教授、慶應義塾大学政策メ ディア研究科兼総合政策学部教授。

同年10月文部科学省参与、2015年2月より文部科学大臣補佐官。

He worked at the Ministry of International Trade and Industry, and was Associate Professor at Keio University.

He was also a member of the House of Councilors (two terms twelve years); and State Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology(two terms).

He is currently Special Advisor to the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, and Professor at The University of Tokyo and Keio University.

Poster Session

ポスターセッション

Leading Forum 2015

日時:2015年10月24日(土) 展示時間:10:30-19:30(討論時間:15:30-17:00)

日時:2015年10月25日(日) 展示時間:9:15-15:00

会場:ベルサール新宿グランド1階イベントホールロビー

本セッションでは、全国で実施中の62の博士課程教育リーディングプログラムが、プログラムのねらいやコース内容、ユニークな取組み、実施状況や育ちつつある学生像、プログラム実施における課題と対策などについてそれぞれ紹介することで、課題や好事例を 共有し、より質の高いプログラムの実現につなげます。

Dates : Saturday, October 24, 2015 Time : 10 : 30 - 19 : 30 (discussion time: 15 : 30 - 17 : 00)

Dates : Sunday, October 25, 2015 Time : 9 : 15 - 15 : 00

Meeting Place : Bellesalle Shinjuku Grand 1F Event Hall Lobby

All 62 Leading Graduate Schools will introduce their specific programs during this poster session. The presentations will provide their objectives and outline of the contents of their course, highlighting unique activities, give an update of their current implementation status, and the progress of the students. Unexpected problems and their solutions during the programs implementation will also be covered. The purpose of this session is to improve the quality of the Leading Graduate Schools Program by sharing the best practices and challenges faced by individual programs.

24

Sat

ポスターセッションレイアウト **Poster Session Layout**

† #1	#6 #7	#12#13	#18 #19	#24 #25	#30 #31	#36 #37	#42 #43	#48 #49	IF
[#2	#5[#8	#11]#14	#17 #20	#23 #26	#29]#32	#35 #38	#41]#44	#47 #50	
# 3	#4 #9	#10_#15	#16 #21	#22 #27	#28 #33	#34 #39	#40 #45	#46 #51	

- #1 京都大学大学院思修館:京都大学 Graduate School of Advanced Leadership Studies, Kyoto University : Kyoto University
- #2 超域イノベーション博士課程プログラム:大阪大学 Cross-Boundary Innovation Program : Osaka University
- #3 超成熟社会発展のサイエンス:慶應義塾大学 ce for Development of Super Mature Society: Keio University
- #4 グローバルリーダー教育院:東京工業大学 Academy for Global Leadership:Tokyo Institute of Technology
- #5 PhD プロフェッショナル登龍門:名古屋大学 PhD Professional : Gateway to Success in Frontier Asia : Nagoya University
- #6 社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー 養成プログラム:東京大学 Global Leader Program for Social Design and Management (GSDM): The University of Tokyo
- #7 持続可能な社会を拓く決断科学大学院プログラム: 九州大学 Graduate education and research training program in decision science for a sustainable society : Kyushu University
- #8 サステイナビリティ学グローバルリーダー養成大学院 プログラム:東京大学 Graduate Program in Sustainability Science Global Leadership Initiative (GPSS-GLI): The University of Toxyo
- #9 環境エネルギー協創教育院:東京工業大学 Academy for Co-creative Education of Environme Energy Science: Tokyo Institute of Technology , nent and
- #10 グリーン自然科学国際教育研究プログラム:名古屋大学 Integrative Graduate Education and Rasearc Green Natural Sciences : Nagoya University
- #11 グローバル環境システムリーダープログラム: 慶應義塾大学 Global Environmental System Leaders Program:Keio University
- #12 グリーン・クリーン食料生産を支える実践科学リーディ ング大学院の創設:東京農工大学 Creation of the Practical Science Leading Graduate School for Green and Clean Food Production : Tokyo University of Agriculture and Technology
- #13 グリーンアジア国際戦略プログラム:九州大学 Advanced Graduate Program in Global Strategy for G Asia: Kyushu University
- #14 ヒューマンバイオロジー学位プログラム: 筑波大学 Ph.D.Program in Human Biology : University of Tsukuba
- #15ライフイノベ ーションを先導するリーダー養成プログ ラム:東京大学 Graduate Program for Leaders in Life Innovation (GPLLI): The University of Tokyo
- #16 情報生命博士教育院:東京工業大学 Education Academy of Computational Life Sciences : Tokyo Institute of Technology
- #17生体統御ネットワーク医学教育プログラム:大阪大学 Interdisciplinary Program for Biomedical Sciences Osaka University
- #18充実した健康長寿社会を築く総合医療開発リーダー 育成プログラム:京都大学 Training Program of Leaders for Integrated Medical System for Fruitful Healthy-Longevity Society: Kyoto University
- #19 グローカルな健康生命科学パイオニア養成プログラム HIGO : 熊本大学 HIGO (Health life science: Interdisciplinary and Glocal Oriented) Program: Kumamoto University
- #20 統合物質科学リーダー養成プログラム:東京大学 Materials Education Program for the Future Leaders in Research, Industry, and Technology (MERIT) : The University of Tokyo
- #21 インタラクティブ物質科学・カデットプログラム: 大阪大学 Interactive Materials Science Cadet Program:Osaka University
- #22分子システムデバイス国際研究リーダー養成および 国際教育研究拠点形成:九州大学 Development of Global Research Leaders in Molecular Systems for Devices and Establishment of an International Education and Research Center: Kyushu University
- #23 物質科学フロンティアを開拓するAmbitious リーダー育成プログラム:北海道大学 Ambitious Leader's Program Fostering Future Leaders to Open New Frontiers in Materials Science: Hokkaido University
 - ※ 日本学術振興会 HP(2015年9月1日現在)より引用 From http://www.jsps.go.jp/j-hakasekatei/

- #24 マルチディメンジョン物質理工学リーダー養成プログ ラム:東北大学 Interdepartmental Doctoral Degree Program for Multi-dimensional Materials Science Leaders : Tohoku University
- #25システム発想型物質科学リーダー養成学位プログ ラム:大阪府立大学(大阪市立大学) Graduate Course for System-inspired Leaders in Materia Science : Osaka Prefecture University (Osaka City Univ l Prsitv)
- #26 ソーシャルICT グローバル・クリエイティブリー ダー育成プログラム:東京大学 Graduate Program for Social ICT Global Creative Leaders (GCL): The University of Tokyo
- #27 デザイン学大学院連携プログラム:京都大学 Collaborative Graduate Program in Design: Kyoto University
- #28 ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム: 大阪大学 Humanwar -are Innovation Program : Osaka University
- #29 エンパワーメント情報学プログラム:筑波大学 Ph.D.Program in Empowerment Informatics : University of Tsukuba
- #30実世界データ循環学リーダー人材養成プログラム: 名古屋大学 Graduate Program for Real-World Data Circulation Leaders : Nagoya University
- #31 超大規模脳情報を高度に技術するブレイン情報アー キテクトの育成:豊橋技術科学大学 Innovative program for training brain-science-information-architects by analysis of massive quantities of highly technical information about the brain: Toyohashi University of Technology
- #32実体情報学博士プログラム:早稲田大学 a University
- #33文化資源マネージャー養成プログラム:金沢大学 Graduate Program in Cultural Resource Management Kanazawa University
- #34 未来共生イノベーター博士課程プログラム: 大阪大学 Doctoral Program for Multicultural Innovation: Osaka Universit rsitv
- #35 グローバル・リソース・マネジメント:同志社大学 Advanced Doctoral Program in Global Resource Management : Doshisha University
- #36 多文化共生・統合人間学プログラム:東京大学 Integrated Human Sciences Program for Cultural Diversity (IHS) : The University of Tokyo
- #37 「ウェルビ-イング in アジア」実現のための女性リー ダー育成プログラム:名古屋大学 Women Leaders Program to Promote Well-being in Asia : Nagoya University
- #38 たおやかで平和な共生社会創生プログラム:広島大学 TAOYAKA PROGRAM for creating a flexible, enduring, peaceful society : Hiroshima University
- #39 グローバル生存学大学院連携プログラム:京都大学 Inter-Graduate School Program for Sustainable Develop and Survival Societies : Kvoto University
- #40 グローバル安全学トップリーダー育成プログラム: 東北大学 原北大学 Inter-Graduate School Doctoral Degree Program on Science for Global Safety : Tohoku University
- #41 災害看護グローバルリーダー養成プログラム: 高知県立大学(兵庫県立大学、千葉大学、東京医科歯科大学、 日本赤十字看護大学) saster Nursing Global Leader Degree Program : University of cchi (University of Hyogo, Chiba University, Tokyo Medical and ental University, The Japanese Red Cross College of Nursing)
- #42 フォトンサイエンス・リーディング大学院:東京大学 Advanced Leading Graduate Course for Photon Sc (ALPS) : The University of Tokyo
- #43放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成 が引続の告後ができた。 プログラム:広島大学 Phoenix Leader Education Program (Hiroshima Initiative) for Renaissance from Radiation Disaster : Hiroshima University
- #44 フロンティア宇宙開拓リーダー養成プログラム: 名古屋大学 Leadership Development Program for Space Exploration and Research : Nagoya University
- #45 リーディング理工学博士プログラム:早稲田大学 Leading Graduate Program in Science and Engineering Waseda University

- #52 #57 #58 #53 #56 #59 #62 #54 #55 #60 #61
- #46活力ある超高齢社会を共創するグローバル・リーダー 養成プログラム:東京大学 Graduate Program in Gerontology: Global Leadership Initiative for an Age-Friendly Society (GLAFS): The University of Tokyo
- #47 「みがかずば」の精神に基づきイノベーションを創出 し続ける理工系グローバルリーダーの育成: お茶の水女子大学 BORGING LOG-Fostering long-term creativity and innovation with science and technology disciplines based on Ochanomizu spirit 'Migakazuba' in the next generation of global leaders : Ochanomizu University
- #48 One Healthに貢献する獣医科学グローバルリー ダー育成ブログラム:北海道大学 Fostering Global Laders in Veterinary Science for Contributing to One Health: Hokkaido University
- #49 重粒子線医工学グローバルリーダー養成プログラム: 群馬大学 Program for Cultivating Global Leaders in Heavy Ion Therapeutics and Engineering : Gunma University
- #50 グローバル原子力安全・セキュリティ・エージェント 養成:東京工業大学 Global Human Resource Development Program for Nuclear Safety and Security : Tokyo Institute of Technology
- #51 グリーンエネルギー変換工学:山梨大学 Special Doctoral Program for Green Energy Conversion Science and Technology : University of Yamanashi
- #52法制度設計・国際的制度移植専門家の養成プログラム: 名古屋大学 The Program for Cross-Border Legal Institution Design : Nagoya University
- #53フォトンサイエンスが拓く次世代ピコバイオロジー: 兵庫県立大学
 - Next generation picobiology pioneered by photon sciences : University of Hyogo
- #54 レアメタル等資源ニューフロンティアリーダー養成 フログラム:秋田大学 New Frontier Leader Program for Rare-metals and Resources : Akita univeristy
- #55フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院: 山形大学
- Innovative Flex Course for Frontier Organic Material Systems (iFront) : Yamagata University #56免疫システム調節治療学推進リーダー養成プログラム:
- T葉大学 Nurture of Creative Research Leaders in Immune System Regulation and Innovative Therapeutics : Chiba University
- #57 数物フロンティア・リーディング大学院:東京大学 Leading Graduate Course for Frontiers of Mathematical Sciences and Physics (FMSP): The University of Tokyo
- #58熱帯病・新興感染症制御グローバルリーダー育成 プログラム:長崎大学 Program for Nurturing Global Leaders in Tropical and Emerging Communicable Diseases : Nagasaki University
- #59 グローバル秩序変容時代のリーダー養成プログラム: 政策研究大学院大学 GRIPS Global Governance Program Advanced Program for Global Leaders in the Changing World : National Graduate Institute for Policy Studies
- #60 ファイバールネッサンスを先導する グローバルリー ダーの養成:信州大学 Global Leader Program for Fiber Renaissance:Shinshu University
- #61 アジア非感染性疾患 (NCD) 超克プロジェクト: 滋賀医科大学 Reducing the Burden of Non-communicable Disease (NCD) in the Asian Pacific Region:Shiga University of Medical Science
- #62 霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング 大学院:京都大学 The Leading Graduate Program in Primatology and Wildlife Science : Kyoto University

24 Sat 25

Sun

List of Participating Programs

参加プログラム一覧

類型 Category	採択年度 Selected Year	整理番号 No	ポスターボード番号 Poster Board No	プログラム名称 Program Title	機関名(共同実施機関名) Institution(Collaborating Institutions)
		A01	#1	京都大学大学院思修館 Graduate School of Advanced Leadership Studies, Kyoto University	京都大学 Kyoto University
	平成23年度 FY2011	A02	#2	超域イノベーション博士課程ブログラム Cross-Boundary Innovation Program	大阪大学 Osaka University
		A03	#3	超成熟社会発展のサイエンス Science for Development of Super Mature Society	慶應義塾大学 Keio University
オールラウンド型 All-around category	平成24年度	G01	#4	グローバルリーダー教育院 Academy for Global Leadership	東京工業大学 Tokyo Institute of Technology
	FY2012	G02	#5	PhDブロフェッショナル登龍門 PhD Professional : Gateway to Success in Frontier Asia	名古屋大学 Nagoya University
	平成25年度	P01	#6	社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー養成ブログラム Global Leader Program for Social Design and Management (GSDM)	東京大学 The University of Tokyo
	FY2013	P02	#7	持続可能な社会を拓く決断科学大学院プログラム Graduate education and research training program in decision science for a sustainable society	九州大学 Kyushu University
		B01	#8	サステイナビリティ学グローバルリーダー養成大学院プログラム Graduate Program in Sustainability Science - Global Leadership Initiative (GPSS-GLI)	東京大学 The University of Tokyo
		B02	#9	環境エネルギー協創教育院 Academy for Co-creative Education of Environment and Energy Science	東京工業大学 Tokyo Institute of Technology
複合領域型 (環境)	平成23年度 FY2011	B03	#10	グリーン自然科学国際教育研究プログラム Integrative Graduate Education and Rasearch Program in Green Natural Sciences	名古屋大学 Nagoya University
Composite category (Environment)		B04	#11	グローバル環境システムリーダーブログラム Global Environmental System Leaders Program	慶應義塾大学 Keio University
	平成24年度 FY2012	H01	#12	グリーン・クリーン食料生産を支える実践科学リーディング大学院の創設 Creation of the Practical Science Leading Graduate School for Green and Clean Food Production	東京農工大学 Tokyo University of Agriculture and Technology
		H02	#13	グリーンアジア国際戦略ブログラム Advanced Graduate Program in Global Strategy for Green Asia	九州大学 Kyushu University
	平成23年度 FY2011 平成24年度 FY2012	C01	#14	ヒューマンバイオロジー学位プログラム Ph.D.Program in Human Biology	筑波大学 University of Tsukuba
複合領域型		C02	#15	ライフイノベーションを先導するリーダー養成プログラム Graduate Program for Leaders in Life Innovation (GPLLI)	東京大学 The University of Tokyo
後口領域空 (生命健康) Composite		C03	#16	情報生命博士教育院 Education Academy of Computational Life Sciences	東京工業大学 Tokyo Institute of Technology
category (Life science &		C04	#17	生体統御ネットワーク医学教育プログラム Interdisciplinary Program for Biomedical Sciences	大阪大学 Osaka University
health)		101	#18	充実した健康長寿社会を築く総合医療開発リーダー育成プログラム Training Program of Leaders for Integrated Medical System for Fruitful Healthy-Longevity Society	京都大学 Kyoto University
		102	#19	グローカルな健康生命科学バイオニア養成プログラムHIGO HIGO (Health life science: Interdisciplinary and Glocal Oriented) Program	熊本大学 Kumamoto University
		J01	#20	統合物質科学リーダー養成プログラム Materials Education Program for the Future Leaders in Research, Industry, and Technology (MERIT)	東京大学 The University of Tokyo
	平成24年度 FY2012	J02	#21	インタラクティブ物質科学・カデットプログラム Interactive Materials Science Cadet Program	大阪大学 Osaka University
複合領域型 (物質)		JO3	#22	分子システムデバイス国際研究リーダー養成および国際教育研究拠点形成 Development of Global Research Leaders in Molecular Systems for Devices and Establishment of an International Education and Research Center	九州大学 Kyushu University
Composite category (Materials)	平成25年度 FY2013	Q01	#23	物質科学フロンティアを開拓するAmbitiousリーダー育成プログラム Ambitious Leader's Program Fostering Future Leaders to Open New Frontiers in Materials Science	北海道大学 Hokkaido University
		Q02	#24	マルチディメンジョン物質理工学リーダー養成プログラム Interdepartmental Doctoral Degree Program for Multi-dimensional Materials Science Leaders	東北大学 Tohoku University
		Q03	#25	システム発想型物質科学リーダー養成学位プログラム Graduate Course for System-inspired Leaders in Material Science	大阪府立大学 (大阪市立大学) Osaka Prefecture University (Osaka City University)
	平成24年度 FY2012	К01	#26	ソーシャルICT グローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム Graduate Program for Social ICT Global Creative Leaders (GCL)	東京大学 The University of Tokyo
		K02	#27	デザイン学大学院連携ブログラム Collaborative Graduate Program in Design	京都大学 Kyoto University
複合領域型 (情報)		коз	#28	ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム Humanware Innovation Program	大阪大学 Osaka University
(情報) Composite category		R01	#29	エンパワーメント情報学ブログラム Ph.D.Program in Empowerment Informatics	筑波大学 University of Tsukuba
(Information)	平成25年度	R02	#30	実世界データ循環学リーダー人材養成プログラム Graduate Program for Real-World Data Circulation Leaders	名古屋大学 Nagoya University
	FY2013	R03	#31	超大規模脳情報を高度に技術するブレイン情報アーキテクトの育成 Innovative program for training brain-science-information-architects by analysis of massive quantities of highly technical information about the brain	豊橋技術科学大学 Toyohashi University of Technology
		R04	#32	実体情報学博士プログラム Graduate Program for Embodiment Informatics	早稲田大学 Waseda University

63 • List of Participating Programs •



類型 Category	採択年度 Selected Year	整理番号 No	ポスターボード番号 Poster Board No	プログラム名称 Program Title	機関名(共同実施機関名) Institution(Collaborating Institutions)	
	平成24年度 FY2012	LO1	#33	文化資源マネージャー養成プログラム Graduate Program in Cultural Resource Management	金沢大学 Kanazawa University	
		L02	#34	未来共生イノベーター博士課程ブログラム Doctoral Program for Multicultural Innovation	大阪大学 Osaka University	
複合領域型 (多文化共生社会) Composite		L03	#35	グローバル・リソース・マネジメント Advanced Doctoral Program in Global Resource Management	同志社大学 Doshisha University	
category (Pluralistic society)		S01	#36	多文化共生・統合人間学ブログラム Integrated Human Sciences Program for Cultural Diversity (IHS)	東京大学 The University of Tokyo	
	平成25年度 FY2013	S02	#37	「ウェルビーイング in アジア」実現のための女性リーダー育成プログラム Women Leaders Program to Promote Well-being in Asia	名古屋大学 Nagoya University	
		S03	#38	たおやかで平和な共生社会創生プログラム TAOYAKA PROGRAM for creating a flexible, enduring, peaceful society	広島大学 Hiroshima University	
	平成23年度 FY2011	D01	#39	グローバル生存学大学院連携プログラム Inter-Graduate School Program for Sustainable Development and Survival Societies	京都大学 Kyoto University	
複合領域型 (安全安心)		MO1	#40	グローバル安全学トップリーダー育成プログラム Inter-Graduate School Doctoral Degree Program on Science for Global Safety	東北大学 Tohoku University	
Composite category (Safety & security)	平成24年度 FY2012	M02	#41	災害看護グローバルリーダー養成ブログラム Disaster Nursing Global Leader Degree Program	高知県立大学(兵庫県立大学、千葉大学、 東京医科歯科大学、日本赤十字看護大学) University of Kochi (University of Hyogo, Chiba University, Tokyo Medica and Dental University, The Japanese Red Cross College of Nursing)	
	平成23年度	E01	#42	フォトンサイエンス・リーディング大学院 Advanced Leading Graduate Course for Photon Science (ALPS)	東京大学 The University of Tokyo	
	平成23年度 FY2011	E02	#43	放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム Phoenix Leader Education Program (Hiroshima Initiative) for Renaissance from Radiation Disaster	広島大学 Hiroshima University	
複合領域型 (横断的テーマ) Composite	平成24年度 FY2012	N01	#44	フロンティア宇宙開拓リーダー養成プログラム Leadership Development Program for Space Exploration and Research	名古屋大学 Nagoya University	
category (Cross-cutting themes)		N02	#45	リーディング理工学博士ブログラム Leading Graduate Program in Science and Engineering	早稲田大学 Waseda University	
ulemes)	平成25年度 FY2013	тот	#46	活力ある超高齢社会を共創するグローバル・リーダー養成プログラム Graduate Program in Gerontology: Global Leadership Initiative for an Age-Friendly Society (GLAFS)	東京大学 The University of Tokyo	
		T02	#47	「みかかすば」の精神に基づきイノベーションを創出し続ける理工系 グローバルリーダーの育成 Fostering long-term creativity and innovation with science and technology disciplines based on Ochanomizu spirit Migakazuba' in the next generation of global leaders	お茶の水女子大学 Ochanomizu University	
	平成23年度		F01	#48	One Health One Health	北海道大学 Hokkaido University
		F02	#49	重粒子線医工学グローバルリーダー養成プログラム Program for Cultivating Global Leaders in Heavy Ion Therapeutics and Engineering	群馬大学 Gunma University	
		F03	#50	グローバル原子力安全・セキュリティ・エージェント養成 Global Human Resource Development Program for Nuclear Safety and Security	東京工業大学 Tokyo Institute of Technology	
	FY2011	F04	#51	グリーンエネルギー変換工学 Special Doctoral Program for Green Energy Conversion Science and Technology	山梨大学 University of Yamanashi	
		F05	#52	法制度設計・国際的制度移植専門家の養成プログラム The Program for Cross-Border Legal Institution Design	名古屋大学 Nagoya University	
		F06	#53	フォトンサイエンスが拓く次世代ビコバイオロジー Next generation picobiology pioneered by photon sciences	兵庫県立大学 University of Hyogo	
		001	#54	レアメタル等資源ニューフロンティアリーダー養成ブログラム New Frontier Leader Program for Rare-metals and Resources	秋田大学 Akita univeristy	
オンリーワン型 "Only-one" category		002	#55	フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院 Innovative Flex Course for Frontier Organic Material Systems (iFront)	山形大学 Yamagata University	
	平成24年度 FY2012	003	#56	免疫システム調節治療学推進リーダー養成プログラム Nurture of Creative Research Leaders in Immune System Regulation and Innovative Therapeutics	千葉大学 Chiba University	
		004	#57	数物フロンティア・リーディング大学院 Leading Graduate Course for Frontiers of Mathematical Sciences and Physics (FMSP)	東京大学 The University of Tokyo	
		005	#58	熱帯病・新興感染症制御グローバルリーダー育成プログラム Program for Nurturing Global Leaders in Tropical and Emerging Communicable Diseases	長崎大学 Nagasaki University	
		U01	#59	グローバル秩序変容時代のリーダー養成プログラム GRIPS Global Governance Program – Advanced Program for Global Leaders in the Changing World –	政策研究大学院大学 National Graduate Institute for Policy Studies	
	平成25年度	U02	#60	ファイバールネッサンスを先導するグローバルリーダーの養成 Global Leader Program for Fiber Renaissance	信州大学 Shinshu University	
	FY2013	U03	#61	アジア非感染性疾患(NCD)超克プロジェクト Reducing the Burden of Non-communicable Disease (NCD) in the Asian Pacific Region	滋賀医科大学 Shiga University of Medical Science	
		U04	#62	霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院 The Leading Graduate Program in Primatology and Wildlife Science	京都大学 Kyoto University	

※ 日本学術振興会 HP (2015 年 9 月 1 日現在) より引用 From http://www.jsps.go.jp/j-hakasekatei/

Floor Map

会場案内図









ベルサール新宿グランド5階コンファレンスセンター Bellesalle Shinjuku Grand 5F Conference Center

Leading Forum 2015



[会場]

ベルサール新宿グランド1階イベントホール 東京都新宿区西新宿8-17-3

ベルサール新宿グランド 5 階コンファレンスセンター 東京都新宿区西新宿 8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー 5F

[Venue]

Event Hall : Bellesalle Shinjuku Grand 1F, 8-17-3, Nishi-Shinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo 160-0023, JAPAN

Conference Center : Sumitomo Fudosan Shinjuku Grand Tower 5F, 8-17-1, Nishi-Shinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo 160-0023, JAPAN

[交通アクセス]

「西新宿駅」1番出口より徒歩3分(丸ノ内線)/「都庁前駅」E4 出口より徒歩7分(大江戸線) 「新宿西口駅」D4 出口より徒歩11分(大江戸線)

「新宿駅」西口より徒歩 15 分(JR 線・丸ノ内線・小田急線・京王線・新宿線・大江戸線)

[Access]

3 minutes' walk from exit 1 of Nishi-Shinjuku Station, Marunouchi Line/ 7 minutes' walk from exit E4 of Tochomae Station, Oedo Line

11 minutes' walk from exit D4 of Shinjuku-Nishiguchi Station, Oedo Line

15 minutes' walk from the west exit of Shinjuku Station, JR, Marunouchi, Odakyu, Keio, Shinjuku, and Oedo Lines

Organizing Committee

組織委員会

1	Leading Forum	2015

役割 Role	プログラム名 Program Title	所属・職位 Affiliation / Position	氏名 Name
組織委員会委員長 Chairman of the Organizing Committee		理事 · 副学長/大学院工学系研究科 · 教授 Executive Vice President / Professor, Graduate School of Engineering	保立 和夫 Kazuo Hotate
	サステイナビリティ学グローバルリーダー養成大学院プログラム Graduate Program in Sustainability Science - Global Leadership Initiative (GPSS-GLI)	大学院新領域創成科学研究科・研究科長・教授 Dean and Professor, Graduate School of Frontier Sciences	味埜 俊 Takashi Mino
	ライフイノベーションを先導するリーダー養成ブログラム Graduate Program for Leaders in Life Innovation (GPLLI)	大学院医学系研究科・教授 Professor, Graduate School of Medicine	岩坪 威 Takeshi Iwatsubo
	フォトンサイエンス・リーディング大学院 Advanced Leading Graduate Course for Photon Science (ALPS)	副学長/大学院理学系研究科・教授 Vice President / Professor, Graduate School of Science	相原 博昭 Hiroaki Aihara
	統合物質科学リーダー養成プログラム Materials Education Program for the Future Leaders in Research, Industry, and Technology (MERIT)	大学院工学系研究科・教授 Professor, Graduate School of Engineering	川崎 雅司 Masashi Kawasaki
プログラムコーディネーター Program Coordinator	ソーシャルICT グローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム Graduate Program for Social ICT Global Creative Leaders (GCL)	大学院情報理工学系研究科 • 教授 Professor, Graduate School of Information Science and Technology	國吉 康夫 Yasuo Kuniyoshi
	数物フロンティア・リーディング大学院 Leading Graduate Course for Frontiers of Mathematical Sciences and Physics (FMSP)	大学院数理科学研究科·教授 Professor, Graduate School of Mathematical Sciences	河野 俊丈 Toshitake Kohno
	社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー養成プログラム Global Leader Program for Social Design and Management (GSDM)	大学院公共政策学連携研究部・教育部・部長・教授 Dean and Professor, Graduate School of Public Policy	城山 英明 Hideaki Shiroyama
	多文化共生・統合人間学プログラム Integrated Human Sciences Program for Cultural Diversity (IHS)	大学院総合文化研究科・教授 Professor, Graduate School of Arts and Sciences	内野 儀 Tadashi Uchino
	活力ある超高齢社会を共創するグローバル・リーダー養成プログラム Graduate Program in Gerontology: Global Leadership Initiative for an Age-Friendly Society (GLAFS)	大学院工学系研究科·教授/高齢社会総合研究機構·機構長 Professor, Graduate School of Engineering / Director, Institute of Gerontology	大方 潤一郎 Junichiro Okata
実行委員会委員長 Chairman of the Executive Committee	社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー養成ブログラム Global Leader Program for Social Design and Management (GSDM)	大学院工学系研究科・研究科長・教授 Dean and Professor, Graduate School of Engineering	光石 衛 Mamoru Mitsuishi
実行委員会幹事/総括責任者 Secretary of the Executive Committee/Director	社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー養成プログラム Global Leader Program for Social Design and Management (GSDM)	大学院工学系研究科・特任教授 Project Professor, Graduate School of Engineering	横野 泰之 Yasuyuki Yokono

Executive Committee



KLeading Forum 2015

実行委員会

役割 Role	プログラム名 Program Title	所属・職位 Affiliation / Position	氏名 Name
	Program Title 社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー養成プログラム Global Leader Program for Social Design and Management (GSDM)	Amilauon / Position 大学院工学系研究科・研究科長・教授 Dean and Professor, Graduate School of Engineering	光石 衛 Mamoru Mitsuishi
実行委員会幹事/総括責任者 Secretary of the Executive Committee/Director	社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー養成プログラム Global Leader Program for Social Design and Management (GSDM)	大学院工学系研究科・特任教授 Project Professor, Graduate School of Engineering	橫野 泰之 Yasuyuki Yokono
総括副責任者 Deputy Director		本部リサーチ・アドミニストレーター推進室・ リサーチ・アドミニストレーター Research Administrator, Office for Advancement of Research Administrators	山野 真裕 Masahiro Yamano
	ライフイノベーションを先導するリーダー養成プログラム Graduate Program for Leaders in Life Innovation (GPLLI)	大学院工学系研究科・リサーチ・アドミニストレーター Research Administrator, Graduate School of Engineering	大内 聡美 Satomi Ouchi
基調講演・オープニングセッション・	ライフイノベーションを先導するリーダー養成プログラム Graduate Program for Leaders in Life Innovation (GPLLI)	大学院医学系研究科・特任講師 Project Lecturer, Graduate School of Medicine	橋本 唯史 Tadafumi Hashimoto
スタッフセミナー・ パネルディスカッション・レセプション	ライフイノベーションを先導するリーダー養成プログラム Graduate Program for Leaders in Life Innovation (GPLLI)	大学院医学系研究科・特任准教授 Project Associate Professor, Graduate School of Medicine	位高 啓史 Keiji Itaka
Keynote Lecture, Opening Session,	フォトンサイエンス・リーディング大学院 Advanced Leading Graduate Course for Photon Science (ALPS)	大学院理学系研究科・リサーチ・アドミニストレーター Research Administrator, Graduate School of Science	野上 識 Satoru Nogami
Staff Seminar, Panel Discussion, Reception	フォトンサイエンス・リーディング大学院 Advanced Leading Graduate Course for Photon Science (ALPS)	大学院理学系研究科・リサーチ・アドミニストレーター Research Administrator, Graduate School of Science	馬場 良子 Yoshiko Baba
	社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー養成プログラム Global Leader Program for Social Design and Management (GSDM)	大学院公共政策学連携研究部・特任教授 Project Professor, Graduate School of Public Policy	岸本 充生 Atsuo Kishimoto
	統合物質科学リーダー養成ブログラム Materials Education Program for the Future Leaders in Research, Industry, and Technology (MERIT)	大学院工学系研究科・上席研究員 Senior Researcher, Graduate School of Engineering	市川 昌和 Masakazu Ichikawa
	統合物質科学リーダー養成プログラム Materials Education Program for the Future Leaders in Research, Industry, and Technology (MERIT)	大学院工学系研究科・特任講師 Project Lecturer, Graduate School of Engineering	山地 洋平 Youhei Yamaji
学生フォーラム	統合物質科学リーダー養成プログラム Materials Education Program for the Future Leaders in Research, Industry, and Technology (MERIT)	大学院工学系研究科・特任講師 Project Lecturer, Graduate School of Engineering	中野 匡規 Masaki Nakano
Student Forum	サステイナビリティ学グローバルリーダー養成大学院プログラム Graduate Program in Sustainability Science - Global Leadership Initiative (GPSS-GLI)	大学院新領域創成科学研究科・特任准教授 Project Associate Professor, Graduate School of Frontier Sciences	松田 浩敬 Hirotaka Matsuda
	サステイナビリティ学グローバルリーダー養成大学院プログラム Graduate Program in Sustainability Science - Global Leadership Initiative (GPSS-GLI)	大学院新領域創成科学研究科・特任助教 Project Assistant Professor, Graduate School of Frontier Sciences	関山 牧子 Makiko Sekiyama
	サステイナビリティ学グローバルリーダー養成大学院プログラム Graduate Program in Sustainability Science - Global Leadership Initiative (GPSS-GLI)	大学院新領域創成科学研究科・特任専門職員 Project Specialist, Graduate School of Frontier Sciences	田渕 章博 Akihiro Tabuchi
	数物フロンティア・リーディング大学院 Leading Graduate Course for Frontiers of Mathematical Sciences and Physics (FMSP)	大学院数理科学研究科 • 特任助教 Project Assistant Professor, Graduate School of Mathematical Sciences	上坂 正晃 Masaaki Uesaka
	数物フロンティア・リーディング大学院 Leading Graduate Course for Frontiers of Mathematical Sciences and Physics (FMSP)	大学院数理科学研究科・教授 Professor, Graduate School of Mathematical Sciences	山本 昌宏 Masahiro Yamamoto
	数物フロンティア・リーディング大学院 Leading Graduate Course for Frontiers of Mathematical Sciences and Physics (FMSP)	大学院数理科学研究科・特任助教 Project Assistant Professor, Graduate School of Mathematical Sciences	久保 利久 Toshihisa Kubo
プログラムワークショップ Program Workshop	数物フロンティア・リーディング大学院 Leading Graduate Course for Frontiers of Mathematical Sciences and Physics (FMSP)	大学院数理科学研究科・特任助教 Project Assistant Professor, Graduate School of Mathematical Sciences	土岡 俊介 Shunsuke Tsuchioka
	多文化共生・統合人間学ブログラム Integrated Human Sciences Program for Cultural Diversity (IHS)	大学院総合文化研究科・特任研究員 Project Researcher, Graduate School of Arts and Sciences	福 博充 Hiromitsu Fuku
	多文化共生・統合人間学プログラム Integrated Human Sciences Program for Cultural Diversity (IHS)	大学院総合文化研究科・特任研究員 Project Researcher, Graduate School of Arts and Sciences	金 美恵 Mihye Kim
	多文化共生・統合人間学プログラム Integrated Human Sciences Program for Cultural Diversity (IHS)	大学院総合文化研究科・学術支援職員 Project Academic Support Staff, Graduate School of Arts and Sciences	高杉 薫 Kaoru Takasugi
	リンマリンジャル CT グローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム Graduate Program for Social ICT Global Creative Leaders (GCL)	大学院情報理工学系研究科・特任助教 Project Assistant Professor, Graduate School of Information Science and Technology	木戸 冬子 Fuyuko Kido
	ソーシャルICT グローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム Graduate Program for Social ICT Global Creative Leaders (GCL)	大学院情報理工学系研究科·特任助教 Project Assistant Professor, Graduate School of Information Science and Technology	塚田 学 Manabu Tsukada
広報	ソーシャルICT グローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム Graduate Program for Social ICT Global Creative Leaders (GCL)	大学院医学系研究科・特任助教 Project Assistant Professor, Graduate School of Medicine	原田 亜紀子 Akiko Harada
Public Relations	活力ある超高齢社会を共創するグローバル・リーダー養成プログラム Graduate Program in Gerontology: Global Leadership Initiative for an Age-Friendly Society (GLAFS)	高齢社会総合研究機構・特任助教 Project Assistant Professor, Institute of Gerontology	荻野 亮吾 Ryogo Ogino
	活力ある超高齢社会を共創するグローバル・リーダー養成プログラム Graduate Program in Gerontology: Global Leadership Initiative for an Age-Friendly Society (GLAFS)	高齢社会総合研究機構・特任助教 Project Assistant Professor, Institute of Gerontology	木全 真理 Mari Kimata
	活力ある超高齢社会を共創するグローバル・リーダー養成プログラム Graduate Program in Gerontology: Global Leadership Initiative for an Age-Friendly Society (GLAFS)	高齢社会総合研究機構・特任講師 Project Lecturer, Institute of Gerontology	菅原 育子 Ikuko Sugawara
本部事務		研究推進部外部資金課	<u> </u>

Appendix 付録



ポスター Poster



プログラムブック Program book
10



セカンドサーキュラー Second Circular



■ ポスター・セカンドサーキュラー・プログラムブック∶デザイン制作 田中 誠司(東京大学 高齢社会総合研究機構・学術支援専門職員) Poster · Second Circular · Program book : designed by Seiji Tanaka (Project Academic Support Specialist, Institute of Gerontology, The University of Tokyo)



東京大学リーディングフォーラム 2015 事務局

〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1 工学部 2 号館 203 号室 TEL / FAX: 03-5841-0696 E-mail:forum2015@lgs.u-tokyo.ac.jp http://forum2015.lgs.u-tokyo.ac.jp

Leading Forum 2015 Office, The University of Tokyo

Eng. Bldg. 2-203, 7-3-1 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo 113-8656, JAPAN TEL / FAX : +81-3-5841-0696 E-mail : forum2015@lgs.u-tokyo.ac.jp http://forum2015.lgs.u-tokyo.ac.jp



東京大学リーディングフォーラム2015組織委員会

Program for Leading Graduate Schools Forum 2015 Organizing Committee, The University of Tokyo